

栗東市デジタル田園都市総合戦略(栗東市第3期総合戦略)

実行計画

令和7年度～令和11年度

【令和7年度版】

令和7年4月

栗東市

1. 栗東市デジタル田園都市総合戦略(栗東市第3期総合戦略)実行計画の基本方針

1 計画策定の趣旨

本実行計画は、令和6年9月に策定した栗東市デジタル田園都市総合戦略(栗東市第3期総合戦略)(以下、「総合戦略」という。)で掲げる基本目標と、横断的施策として位置づけた重点プロジェクトの目標達成に向けて、具体的な事業の内容、年次計画、活動目標などの概要を明らかにすることで、総合戦略を計画的かつ効果的に実施していくために策定します。

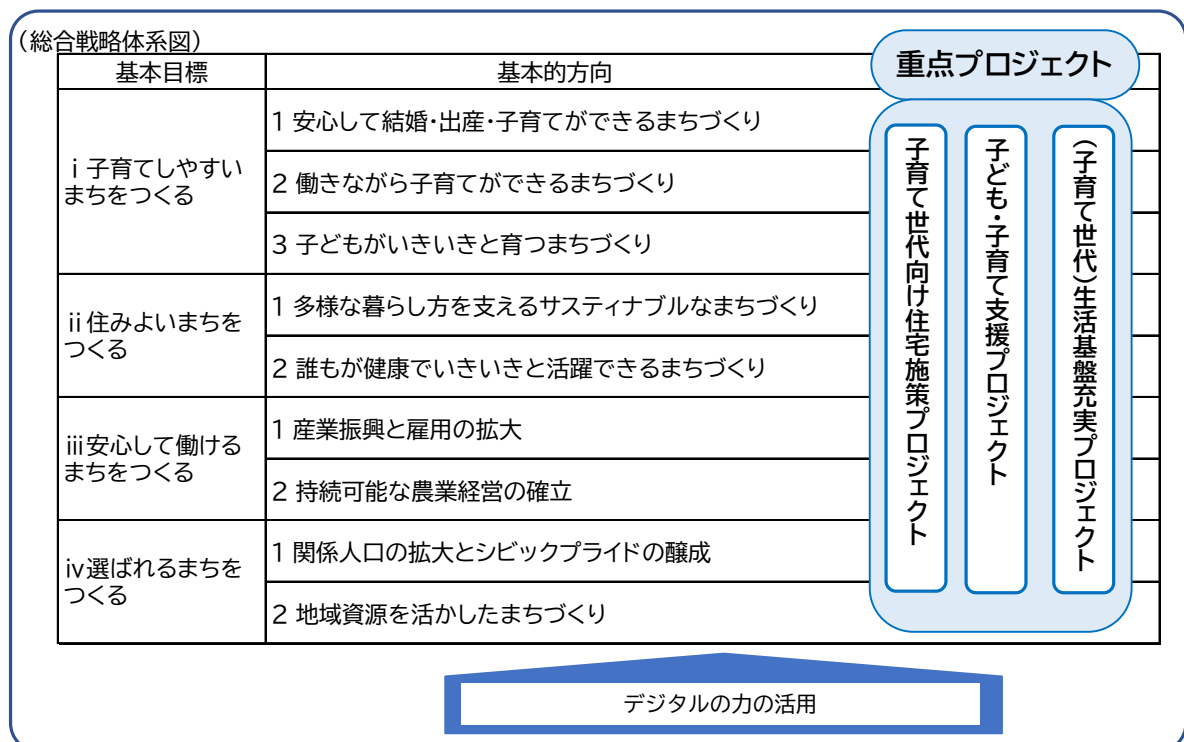
2 計画の期間

本計画の期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間とします。

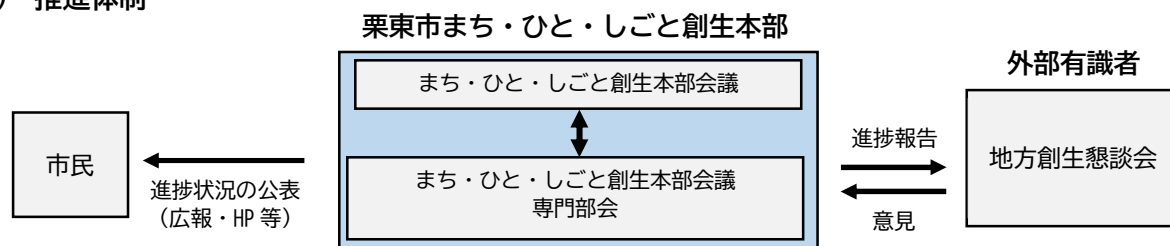
3 計画の推進

総合戦略で掲げる4つの基本目標については、基本的方向ごとに主な数値目標(KPI)を示しています。また、重要目標達成指標(KGI)の達成を目指し、3つの重点プロジェクトごとに主な数値目標(KPI)を示しています。

本計画の対象事業は、基本目標と、重点プロジェクトの施策展開を図るうえで必要な取組を対象としています。なお、デジタル技術やデータの活用を伴う取組のDXの視点での推進は栗東市DX推進計画に位置付け、取組を進めます。(栗東市DX推進計画にも位置づける具体的取組については、名称の後ろに(D)マークを表示)



(1) 推進体制



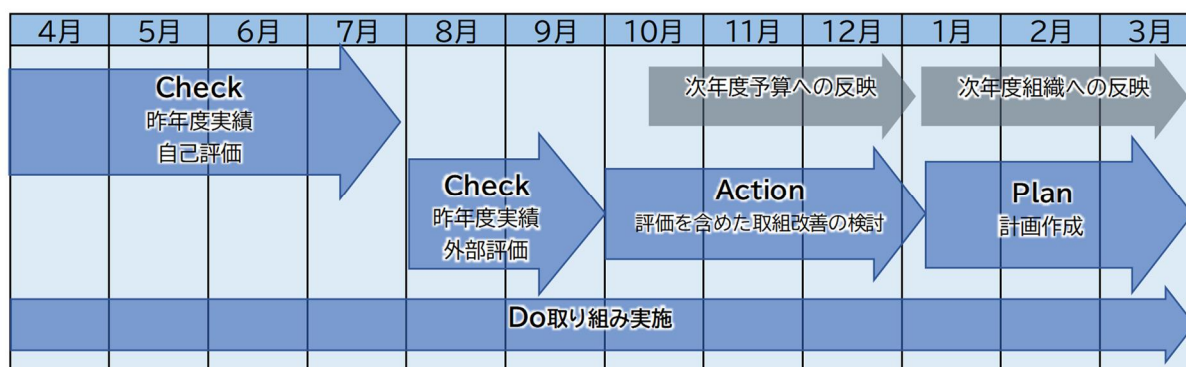
(2) 進行管理

総合戦略の進捗は、4つの基本目標、3つの重点プロジェクトごとに実行計画に定める取組の「年次計画」および「活動(アウトプット)指標」の達成度によってはかることとします。

取組の評価・検証は、PDCA サイクルに基づいて毎年度ごとに行い、次年度の予算および組織への反映を含め、次のアクションにつなげていきます。

なお、実行計画は取組の評価・検証結果や社会情勢の変化を考慮し、必要に応じて取組の追加等、見直しを行うものとします。

実行計画の評価・検証の結果は、年度ごとにまとめて市のホームページ等で公開します。



4 計画の関係性

(1) 取組に係るビジョン（方向性）

本市の最上位計画に位置づけられる「第6次栗東市総合計画」に基づき、各個別計画と連携を図りつつ、人口の将来展望や市民向けのDX・地方創生の観点で取り組む内容については総合戦略で、庁内向けのDX・行政改革の観点で取り組む内容については行政改革大綱でビジョンを明らかにしています。

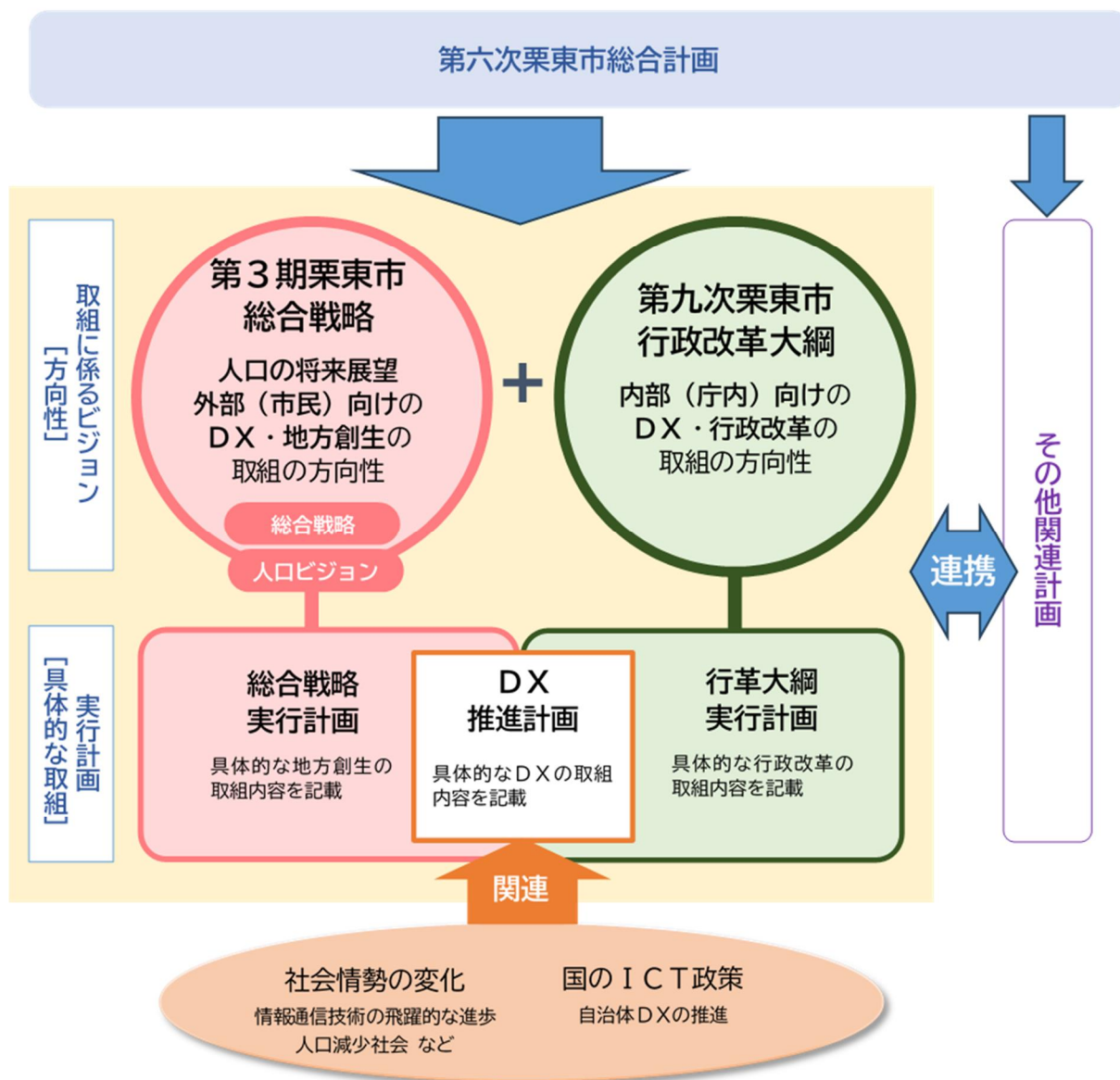
(2) 総合戦略実行計画、行革大綱実行計画、DX推進計画の関係性

- 総合戦略および行革大綱を具体的に実行していくため、事業の内容、年次計画、活動目標などを示すために総合戦略実行計画および行革大綱実行計画を策定します。

- 総合戦略実行計画および行革大綱実行計画のうち、DXに関連した取組について集約し、新たにDX推進体制を整備したうえで、スピード感を持って実行していくため、DX推進計画を策定します。

- 総合戦略および行革大綱の取組と、手段としてのDXとは密接に関連することから、これらを効率的・効果的に推進するために、3つの実行計画を一体的に作成します。また、共通の

「取組シート」を用いることにより、3つの実行計画を連動させながら、取組の進行管理や毎年の見直しについて実施していきます。



2. 重点プロジェクト

【基本方針】0～4歳と 35～44 歳の転出超過が社会減の大きな要因となっており、また、近隣市への定住を理由とする転出が目立つことから、子育て世代が住み続けたい、戻ってきたいと思う定住基盤の整備を重点プロジェクトとして展開します。

重点プロジェクトに重要目標達成指標(KGI)を設け、この最終目標を達成するための重要業績評価指標(KPI)を「子育て世代向け住宅施策プロジェクト」「子ども・子育て支援プロジェクト」「(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト」のそれぞれに設けています。具体的な取組を推進することにより、重要業績評価指標(KPI)の達成を目指します。

なお、KGI 及び KPI を達成するために行う事業で具体的取組に掲げる以外のものについては、関連する個別計画により実施することとします。

【重要目標達成指標(KGI)】

実現すべき成果に係る数値目標 (重要目標達成指標/KGI)	現状値	目標値
人口の社会動態 (転出超過の抑制)	△370 人	0人以上 (プラスに転じさせる)
(参考内訳) 特に転出超過の多い年齢階級	0～ 4歳 △227人 35～39歳 △51人 40～44歳 △38人	0人以上(プラスに転じさせる)

重点プロジェクトは、以下の2つの段階を意識しながら、推進します。

第1段階 子育て世代における人口流出傾向を踏まえ、地元定着の取組を促進します。

第2段階 就職・転職・転勤をきっかけに転出した方が、戻ってきたくるように、市への愛着や誇りを高める取組を推進します。交流人口の拡大にもつながることが期待されます。

重点プロジェクトは、以下の3つの横断的視点から施策を展開します。

1. 住宅取得に係る補助や支援制度の充実、土地利用の適切な規制・誘導など、子育て世代のニーズに合った住宅施策の展開による UIJ ターンを含む居住誘導。
2. 教育環境の充実と、親と子の多様なニーズに応じた居場所の確保など子どもが育つ環境の充実。
3. 日常生活に必要な施設へのアクセスのしやすさや、暮らしの安心と安定を叶える生活基盤の充実。

1 子育て世代向け住宅施策プロジェクト

子育て世代のニーズに合った住宅施策の展開を行います。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課・関係課
住宅着工件数(5年平均値)	459件	460件	企画政策、住宅課、 都市計画課
空き家率(住宅土地統計調査)	7.2%	7.2%以下	住宅課
若年層の結婚に係る住宅関連費用補助件数	53件	60件	企画政策課
市の支援制度等を利用して住宅を取得した件数	2件	28件	企画政策課、住宅課

【具体的取組】

○都市計画法第34条11号、12号による指定区域の拡大【拡充等】

都市計画法第34条11号、12号による指定区域の拡大を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
新たに指定する区域の数	1区域	—	—	—	1区域 以上	住宅課	S1	30

○都市計画マスタープランにおける土地利用のあり方検討【新規】

都市計画マスタープランや企業立地推進計画に位置付けられた地域での地区計画等による土地利用を促進します。

年次計画	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
地区計画決定件数	1件	1件	1件	1件	1件	都市計画課	S2	32

○空き家相談の充実【拡充等】

NPO法人、関係団体、民間事業等との連携、ホームページやガイドブック等の空家対策情報の充実、空家バンクや子育て・若年世帯向け空家の改修補助事業等の実施

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
戸建て空家増加数(空家等現況調査)	R4と比べ 50戸以下	—	—	R7と比べ 50戸以下	—	住宅課	S3	34
市の支援制度等を利用して住宅を取得した件数	6.5件 (累計)	8件 (累計)	9.5件 (累計)	11件 (累計)	12.5件 (累計)			

○移住者・交流者向けPRや情報発信【新規】

滋賀移住・交流促進協議会等に参画し、戦略的に情報発信・PR活動を展開するとともに、団体間での情報共有を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
移住・交流人口に関する情報発信の数	6回	12回	12回	12回	12回	企画政策課	S4	36
移住フェアや情報交換会への参加回数	2回	4回	4回	4回	4回			

○結婚新生活に係る経済的支援【拡充等】

経済的理由で結婚に踏み切れない若年世代を対象に住宅取得等に係る費用の一部を補助します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
支援制度の利用者数	59 件	60 件	60 件	60 件	60 件	企画政策課	S5	38
支援制度を利用して住宅を取得した 件数(R5 年度からの累計)	5件	8件	12件	16件	20件			

「1 子育て世代向け住宅施策プロジェクト」では、住宅取得に係る補助や支援制度の充実、土地利用の適切な規制・誘導など、子育て世代のニーズに合った住宅施策の展開による UIJ ターンを含む居住誘導を行うことで KGI(人口の社会動態(転出の抑制))達成を目指します。

2 子ども・子育て支援プロジェクト

子どもが育つ環境の充実を図ります。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)		基準値	目標値	担当課・関係課
待機児童数		26 件	0 件	幼児課、子育て支援課
授業の内容が良く分かる児童の割合	(小学 6 年生)	85.6%	88%	学校教育課
	(中学 3 年生)	77.9%	80%	
不登校等児童生徒の居場所保有率		—	90%	学校教育課
全国学力学習状況調査(国語)の滋賀県正答率と本市正答率との比較	(小学校)	4.6%	2.6%	学校教育課
	(中学校)	5.4%	3.4%	
全国学力学習状況調査(算数・数学)の滋賀県正答率と本市正答率との比較	(小学校)	3.2%	1.2%	学校教育課
	(中学校)	5.9%	3.9%	

【具体的取組】

○学童保育所の整備【拡充等】

入所児童の増加にあわせて、民設学童保育所の開設や公共施設や公共用地の空きスペースの活用による整備を行います。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	子育て支援課	S6	40

○保育人材の確保【継続】

就職フェア・相談会の開催等により保育人材の確保を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
就職フェア・相談会の開催数	10 回	10 回	10 回	10 回	10 回	幼児課	S7	42

○こども園(幼稚園・保育所のこども園化を含む)の整備【拡充等】

子ども・子育て支援事業計画や栗東市就学前教育・保育施設の再編(認定こども園化)の推進に基づき、公立園の民設民営化や新規法人立認定こども園の誘致を推進します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
新規法人立認定こども園誘致数	—	1施設	—	—	—	幼児課	S8	44
公立園(治田保育園)の民設民営化の数	—	—	—	1施設	—			
公立園(幼児園)のこども園化	—	3 施設	—	—	—			

○学びに向かう力の向上策・学力向上「セレクト・パッケージ」【新規】

各校が子どもの実態分析を基にして方略を選択できるように、学校の「主体性・独自性」を重視した学力向上の取組、学力向上「セレクト・パッケージ」を提示します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
全国学力学習状況調査(国語)の滋賀県正答率と本市正答率との比較	小△4.6% 中△5.4%	小△4.1% 中△4.9%	小△3.6% 中△4.4%	小△3.1% 中△3.9%	小△2.6% 中△3.4%	学校教育課	S9	46
全国学力学習状況調査(算数・数学)の滋賀県正答率と本市正答率との比較	小△3.2% 中△5.9%	小△2.7% 中△5.4%	小△2.2% 中△4.9%	小△1.7% 中△4.4%	小△1.2% 中△3.9%			

○校内教育支援センターの拡充による不登校児童生徒の居場所確保【拡充等】

教室以外で不登校・不応児童生徒が安心して学校に通える場所が必要なため、校内教育支援センターの運営環境を整え、子どもの居場所を確保します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
不登校等児童生徒の居場所保有率	70%	80%	90%	90%	90%	学校教育課	S10	48

○学力向上に向けての学校 DX の推進(D)【拡充等】

1 人一台端末や授業支援システム、デジタルドリルなどの学校 DX の環境を整え、加えて活用できるようになる研修会を計画・実施します。

活動(アウトプット)指標		R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
授業の内容がよく分かる児童の割合	(小学 6 年生)	86.0%	86.0%	86.0%	87.0%	88.0%	学校教育課	S11	50
	(中学3年生)	78.0%	78.5%	79.0%	79.5%	80.0%			

○自分のペースで緩やかに「他者(ひと)」と繋がれる居場所づくり【拡充等】

市内在住の子ども、若者が、自分のペースで過ごせる場所を開設する。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
居場所の開設数	2 か所	2 か所	3 か所	3 か所	3 か所	社会福祉課	S12	52
体制推進会議・共生社会推進会議の開催回数	1 回	2 回	2 回	2 回	2 回			

○生活困窮世帯の自立に向けた子どもの学習支援や居場所づくり【継続】

市内2か所において、中学生・高校生で支援の必要な子どもたちの学習支援とともに、生活習慣や育成環境の相談支援に取り組むとともに、居場所として支援します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
「べんきょう会」の実施回数	90回	90回	90回	90回	90回	社会福祉課	S13	54

○子育て情報の収集・発信の充実(D)【拡充等】

子育てに関する制度や情報を収集し、広報やホームページ、LINE、子育てアプリ、YouTube 等を活用し、子育て情報へアクセスしやすい形で発信します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
市ホームページ子育て特設サイトトップページアクセス数 (月平均)	1,450 回	1,700 回	1,950 回	2,200 回	2,450 回	子育て 支援課	S14	56
LINE、子育てアプリ配信回数 (月平均)	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回			

「2 子ども・子育て支援プロジェクト」では、教育環境の充実と、親と子の多様なニーズに応じた居場所の確保など、子どもが育つ環境の充実を図ることで、KGI(人口の社会動態(転出の抑制))達成を目指します。

3 (子育て世代)生活基盤充実プロジェクト

子育て世代に好まれるような生活基盤の整備を推進します。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)		基準値	目標値	担当課・関係課
犯罪認知件数		272件	245件	危機管理課
事業所立地数		2,820 件	2,820 件以上	商工観光労政課、 企業立地推進課
商業施設数(小売業)		319件	319件以上	商工観光労政課、 都市計画課
都市公園整備面積		23.9ha	25.08ha	都市計画課
医療施設数(一般診療所、歯科診療所、助産所)		82 施設	82施設以上	健康増進課
鉄道/コミュニティバス ・タクシーの利用者数	(鉄道)	11,815 人/日平均	15,054 人/日平均	土木交通課
	(コミュニティバス/ タクシー)	71千人/年	90千人/年	

【具体的取組】

○防犯環境(防犯灯・防犯カメラ)の整備

優先順位をつけ、防犯カメラの設置を推進します。【拡充等】

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
防犯カメラの設置件数	30件	30件	29件	—	—	危機管理課	S15	58
LED 防犯灯設置件数	14件	14件	14件	—	—			

○創業支援事業【継続】

「りっとう創業塾」を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
「りっとう創業塾」受講者数	48 人	48 人	48 人	48 人	48 人	商工観光労政課	S16	60

○市内企業のデジタル化・省力化の促進(D)【新規】

市内企業の生産性向上のためのデジタル化を推進し、経営の持続と発達に繋がります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
デジタル化導入に係る補助金 申請件数	25 件	—	—	—	—	商工観光労政課	S17	62

○企業立地推進計画に基づく民間開発の促進【拡充等】

新たな企業立地の促進に向けた環境整備や支援の充実を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
新規立地件数	—	—	—	—	1件	企業立地推進課	S18	64

○東部地区におけるインフラ整備【継続】

東部地区における新たな産業拠点の形成に向け、アクセス道路として市道の整備及び工業用水道の整備を行います。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
新規立地件数	—	—	—	—	1件	企業立地推進課	S19	66

○商業・サービス業支援【継続】

りっとうバル事業を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
りっとうバルの参加事業者数	83 者	83 者	83 者	83 者	83 者	商工観光労政課	S20	68

○商業施設立地の検討【新規】

商業施設の市内立地の可能性を調査します。

年次計画(取組項目)	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
商業施設の市内立地の可能性を調査	調査・研究	—	—	—	—	商工観光労政課	S21	70

○健康運動公園整備事業【継続】

健康運動公園の整備を推進します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
公園整備の事業内容	設計	設計	工事	工事	工事	健康運動公園整備事業推進課	S22	72

○都市公園の整備推進(草津川跡地)【継続】

多様な主体、年代が利活用でき、地域の交流拠点となるよう整備します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
整備事業の進捗率	20%	60%	100%	—	—	都市計画課	S23	74

○かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことの啓発【継続】

かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことの啓発を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
情報発信の数	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回	健康増進課	S24	76

○市内の医療施設に関する現状把握【新規】

市内の医療施設に関する現状把握を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
市内の医療施設数	82 施設	82 施設	82 施設	82 施設	82 施設以上	健康増進課	S25	78

○公共交通の利便性向上【拡充等】

持続可能な地域公共交通ネットワークへの再構築に向け、現在市内を運行する民間乗合バス、コミュニティバス、デマンドタクシー全てを見直します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
市内バス利用者増加率	1%	1%	1%	1%	1%	土木交通課	S26	80

○「馬」関連事業の企画と実施【新規・拡充等】

「馬」に関連する事業を展開し、市内外に向けて「馬のまち」のPRを行う。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
イベントの回数	1回	1回	—	—	—	シティ・プロモーション 推進課	S27	82

○手続きのオンライン化の拡充(D)【拡充等】

行政手続きの件数の多寡、課題を考慮し、優先順位の高いものから順に、手続きのオンライン化をさらに進めます。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
電子申請による行政手続き のオンライン化率	35%	45%	55%	65%	75%	情報政策課	S28	84

○(再)都市計画マスタープランにおける土地利用のあり方検討

「3（子育て世代）生活基盤充実プロジェクト」では、日常生活に必要な施設へのアクセスのしやすさや、暮らしの安心と安定を叶える生活基盤の充実を図ることで、KGI（人口の社会動態（転出の抑制））達成を目指します。

3. 基本目標等

国の総合戦略における基本的考え方や基本方針を踏まえ、4つの基本目標を定めています。そして、この基本目標の達成に向けてどのような政策を推進していくかを、基本的方向として整理しています。

基本的方向ごとに重要業績評価指標(KPI)を設け、具体的な取組を推進することにより、基本目標で掲げる姿を目指します。

なお、基本目標を目指す事業で具体的取組に掲げる以外のものについては、関連する個別計画により実施することとします。

基本目標 i 子育てしやすいまちをつくる

基本的方向 1. 安心して結婚・出産・子育てができるまちづくり

妊娠・出産・子育てをつなぐ安心の支援

安心して結婚・出産・子育てがしやすい環境整備や子育て支援に関する取組の充実により、若い世代が家庭を持ち、子育てしやすいまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課・関係課
15～49歳の女性の人口に対する年間出生数の割合	4.8%	4.8%以上	企画政策課
婚姻件数	468件	470件	企画政策課

【具体的取組】

○地域における子育て支援の場の提供(児童館・地域子育て支援センター)

①子育て中の親子の交流の場の提供 ②子育て等に関する相談、援助の実施 ③地域の子育て関連情報の提供 ④利用者ニーズ

をとらえた子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
利用率の維持	427.5%	427.5%	427.5%	427.5%	427.5%	子育て支援課	S29	86
子育て講座の参加者数	830人	850人	870人	889人	908人			

○(再)子育て情報の収集・発信の充実(D)

○(再)結婚新生活に係る経済的支援

基本的方向 2. 働きながら子育てができるまちづくり

働きながら安心して子育てができる環境づくり

テレワークを始めとした多様で柔軟な働き方の普及促進など、仕事と家庭を両立しやすいまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課・関係課
(再掲)待機児童数	26件	0件	幼児課、子育て支援課
女性(25～44歳)の就業率	61.7%	基準値以上	自治振興課、商工観光労政課
行政手続きのオンライン化率	25%	75%	情報政策課
男性の育休取得率	47.8%	基準値以上	自治振興課

【具体的取組】

○女性活躍に関するセミナーの推進【継続】

女性が能力や個性を発揮し、活躍できるよう女性活躍に関するセミナーを推進します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
女性活躍セミナーの参加者数	32人	32人	34人	36人	40人	自治振興課	S30	88

○労働環境の改善支援【継続】

企業訪問等の機会を通じて、企業への啓発を行うとともに、適切な情報提供を行います。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
啓発や情報提供を行った回数	2回	2回	2回	2回	2回	商工観光労政課	S31	90
デジタル化導入に係る補助金申請件数	25件	—	—	—	—			

○資格取得支援補助金制度の充実【拡充等】

資格取得支援補助金制度について情報発信を行うとともに、資格取得支援補助金制度の充実を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
資格取得補助金制度の受給者数	10人	12人	12人	15人	15人	商工観光労政課	S32	92

○預かり保育やサービスの充実【拡充等】

市内の公立園(幼稚園、幼児園、こども園)において、降園時間後の預かり保育を実施します。また、公立こども園では、夏季休業中の預かり保育を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
預かり保育の実施施設数	8施設	8施設	8施設	8施設	8施設	幼児課	S33	94
夏季休業期間中の預かり保育の実施施設数	3施設	6施設	6施設	6施設	6施設			

○書かない窓口の推進(D)【拡充等】

窓口事務フローの見直しと書かない窓口システムの導入を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
窓口での書かない率	—	20%	50%	75%	100%	情報政策課	S34	96

○オンライン相談の推進(D)【拡充等】

相談の数やボリューム、課題等を把握のうえ、優先順位付けを行い、オンライン相談を推進します。

オンライン相談の実施できる環境を構築します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
オンライン相談の取扱業務数	-	5 業務	6 業務	7 業務	8 業務	情報政策課	S35	98

○マイナンバーカードの普及促進・利用の推進(D)【拡充等】

マイナンバーカードに対し、不安や不信感を抱いておられる方もおられるため、安全性や利便性について窓口で丁寧に説明するとともに広く周知を行います。窓口での申請サポートや出張申請、休日開庁、延長窓口を行い、今後急増する更新者を含め、円滑に手続きできる体制を整備します。マイナンバーカードを利用した証明書の発行およびオンライン申請を推進します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
マイナンバーカードの保有枚数率	83%	84%	85%	86%	87%	情報政策課、 総合窓口課	S36	100
コンビニ交付率	60%	63%	65%	68%	70%			

○キャッシュレス決済システムの導入による収納チャンネルの多様化(D)【新規】

収納窓口にはキャッシュレス決済システムを導入し、公金収納における多様な支払手段を確保します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
キャッシュレス決済の利用割合	5%	20%	40%	55%	70%	情報政策課	S37	102

○公金収納における eLTAX の導入(D)【拡充等】

公金収納における eLTAX の導入を進めます。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
eLTAX を活用して納付できる公金の数	2 件	2 件	6 件	8 件	10 件	情報政策課	S38	104

○職場や家庭における男女共同参画の推進に向けて啓発し、気運を醸成【継続】

男女共同参画の推進に関する啓発・情報発信し、気運を醸成します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
情報発信の回数	3回	3回	3回	3回	3回	自治振興課	S39	106

○(再)手続きのオンライン化の拡充(D)

○(再)学童保育所の整備

○(再)保育人材の確保

○(再)こども園(幼稚園・保育所のこども園化を含む)の整備

基本的方向 3. 子どもがいきいきと育つまちづくり

生きる力を育む教育環境の整備

すべての子どもの育ちの支援

学校教育・保育環境の充実を図るとともに、子どもの健やかな成長を家庭・学校(園)・地域など社会全体で支えていくまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)		基準値	目標値	担当課・関係課
(再掲)授業の内容が良く分かる児童・生徒の割合	(小学6年生)	85.6%	88%	学校教育課
	(中学3年生)	77.9%	80%	
(再掲)全国学力学習状況調査(国語)の滋賀県正答率と本市正答率との比較	(小学校)	4.6%	2.6%	学校教育課
	(中学校)	5.4%	3.4%	
(再掲)全国学力学習状況調査(算数・数学)の滋賀県正答率と本市正答率との比較	(小学校)	3.2%	1.2%	学校教育課
	(中学校)	5.9%	3.9%	
給食の地場産物の使用割合		28.9%	30%	学校給食共同調理場
(再掲)不登校等児童生徒の居場所保有率		—	90%	学校教育課
子どもの居場所の数(学童保育所、児童館、放課後子ども教室、放課後等デイサービス)		52か所	62か所	子育て支援課、生涯学習課、障がい福祉課
(再掲)都市公園整備面積		23.9ha	25.08ha	都市計画課

【具体的取組】

○栗東食材の日の推進【継続】

学校給食において可能な限り地場産物を活用し、食育を推進します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
給食の地場産物の使用割合	30%	30%	30%	30%	30%	学校給食共同調理場	S40	108

○子どもの居場所の提供【拡充等】

- ・学童保育所入所希望者に対して、放課後や長期休暇中に子どもが安全に過ごせる場の確保を行います。(学童保育所)
- ・子育ての不安を軽減し、子どもが安心して伸び伸びと遊ぶ場を提供することで、子どもの健やかな育ちを支援します。(児童館)
- ・各小学校区単位で小学校の体育館などを活用して、放課後の居場所を設け、地域のスタッフの協力の基に、スポーツや体験・文化活動、子どもと地域住民との交流などを行います。(放課後こども教室)
- ・規則正しい生活習慣を維持できるよう、療育活動や創作活動を行う場所の確保、また家族の介護負担軽減のための一時預かりを実施します。(放課後等デイサービス、日中一時支援)

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
学童保育所施設数	22 施設	25 施設	25 施設	25 施設	25 施設	子育て支援課	S41	110
児童館施設数	9 施設	9 施設	9 施設	9 施設	9 施設	子育て支援課	S42	112
利用率の維持(児童館)	427.5%	427.5%	427.5%	427.5%	427.5%			
放課後子ども教室を実施する小学校区数	8 校区	9校区	9校区	9校区	9校区	生涯学習課	S43	114
放課後等デイサービスの事業所数	14 事業所	15 事業所	16事業所	17事業所	19事業所	障がい福祉課	S44	116
日中一時支援事業所の数	51 事業所	51 事業所	51 事業所	51 事業所	51 事業所			

○ファミリーサポートセンター事業【新規】

子育ての援助を受けたい者と当該援助を行いたい地域の者とが会員登録し、育児における相互援助活動に関する連絡・調整を行います。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
延利用者数	206 人	403 人	591 人	773 人	950 人	子育て支援課	S45	118
会員登録者数	147 人	288 人	422 人	552 人	679 人			

○子どもに応じたかかわり方を提案する発達相談の実施【継続】

発達検査や発達相談、子どもへの好ましい関わり方を学ぶ連続講座等を通して、子どもの発達段階をとらえ、子どもの成長を支える関わり方を助言します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
発達相談・発達検査の実施件数(就学前・小中学校・高等学校の児童生徒および保護者)	1,000 件	1,000 件	1,000 件	1,000 件	1,000 件	発達支援課	S46	120
ペアレント・トレーニングの参加人数	10 人	10 人	10 人	10 人	10 人			

○(再)学びに向かう力の向上策・学力向上「セレクト・パッケージ」

○(再)学ぶ力向上に向けての学校 DX の推進(D)

○(再)校内教育支援センターの拡充により、不登校児童生徒の居場所確保

○(再)自分のペースで緩やかに「他者(ひと)」と繋がれる居場所づくり

○(再)生活困窮世帯の自立に向けた子どもの学習支援や居場所づくり

○(再)栗東健康運動公園整備事業

○(再)都市公園の整備推進(草津川跡地)

基本目標 ii 住みよいまちをつくる

基本的方向 1. 多様な暮らし方を支えるサステナブルなまちづくり

良好な住環境の整備促進

未利用地の有効利用による住宅供給の促進やデジタル技術の活用により、市内の利便性の向上、都市機能の充実に取り組み、住みよいまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)		基準値	目標値	担当課・関係課
戸建て空家増加数(空家等現況調査)		55戸	50戸以下	住宅課
(再掲)市の支援制度を利用して住宅を取得した件数		2件	28件	企画政策課、住宅課
(再掲)鉄道、コミュニティバス・タクシーの利用者数	(鉄道)	11,815 人/日平均	15,054 人/日平均	土木交通課
	(コミュニティバス/タクシー)	71千人/年	90千人/年	
市内購買率		44.7%	44.7%以上	商工観光労政課
住宅耐震化率		92.6%	97%	住宅課
(再掲)都市公園整備面積		23.9ha	25.08ha	都市計画課

【具体的取組】

○木造住宅の無料耐震診断・耐震改修工事への補助の実施【継続】

木造住宅の無料耐震診断・耐震改修工事への補助を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
住宅耐震化率	95%	—	—	—	97%	住宅課	S47	122

○開発時の指導等による緑地面積の確保【継続】

開発時の指導等により緑地面積を確保します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
緑地完了検査の実施率	100%	100%	100%	100%	100%	住宅課	S48	124

○都市計画道路の整備【継続】

都市計画道路等の整備を推進します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
出庭林線の整備(km)	—	0.4km	—	—	—	道路・河川課	S49	126
大門野尻線の整備(km)	0.5km	0.3km	—	—	—			
小柿苅原線の整備(km)	—	—	0.1km	—	—			

○生ごみ減量化の推進(家庭用生ごみ処理機設置補助)【拡充等】

栗東市の家庭から出る生ごみをたい肥化するコンポスト・機械式生ごみ処理容器設置者(世帯)に対し、補助金を交付します。(購入金額の2分の1、限度額あり)

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
家庭用生ごみ処理機設置補助の補助件数	30 件	35 件	40 件	45 件	50 件	環境政策課	S50	128

○脱炭素社会の実現を目指した取組の普及(住宅用太陽光発電システム等設置補助)(省エネ家電購入補助)【拡充等】

住宅用太陽光発電システム等設置および省エネ家電購入をする市民に対し、費用の一部を補助します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
住宅用太陽光発電システム等設置補助および蓄電池設置補助件数	10 件	10 件	10 件	10 件	10 件	環境政策課	S51	130
省エネ家電(エアコン、冷蔵庫、冷凍庫)の購入補助件数	90 件	90 件	90 件	90 件	90 件			

○公開型 GIS の導入(D)【新規】

公開型 GIS を導入することで、市の保有する地理情報について、広く民間に提供します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
公開型 GIS システムへのアクセス数	—	300 件	1,700 件	1,900 件	2,100 件	情報政策課	S52	132
公開する地理情報数		10 件	15 件	20 件	25 件			

○Wi-Fi 環境の整理(D)【新規】

市内各コミュニティセンターに利用者が自由に使用できる Wi-Fi を整備することでコミュニティセンターの利便性向上による住みよいまちを目指します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
Wi-Fi 整備が完了したコミュニティセンター(センター数)	—	9 施設	9 施設	9 施設	9 施設	自治振興課	S53	134

○(再)商業・サービス業支援

○(再)空き家相談の充実

○(再)結婚新生活に係る経済的支援

○(再)公共交通の利便性向上

○(再)栗東健康運動公園整備事業

○(再)都市計画マスタープランにおける土地利用のあり方検討

○(再)都市公園の整備推進(草津川跡地)

○(再)防犯環境(防犯灯・防犯カメラ)の整備

基本的方向 2. 誰もが健康でいきいきと活躍できるまちづくり

誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進

地域の特性を生かした魅力とにぎわいのあるまちづくりを進めるとともに、市民が生涯を通じて住み慣れた地域で健康で安心して過ごせるまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)		基準値	目標値	担当課・関係課
健康寿命の延伸	(男性)	80.8 歳	81.4 歳以上	長寿福祉課
	(女性)	84.6 歳	85.2 歳以上	
12 歳児(中1)のむし歯のない人の割合		70.8%	71.0%	健康増進課
特定健診受診率(国保特定健診)		40.0%	60.0%	保険年金課
(再掲)医療施設数(一般診療所、歯科診療所、助産所)		82 施設	82施設以上	健康増進課
社会体育施設年間利用者数		202,957 人	245,500 人	スポーツ・文化振興課

【具体的取組】

〇いきいき百歳体操の普及啓発【継続】

週に1回、身近な会館等で地域住民が主体となって健康づくりが行えるよう立ち上げ支援、継続支援を行います。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
いきいき百歳体操を実施する団体の数	76 団体	77 団体	77 団体	78 団体	78 団体	長寿福祉課	S54	136

〇データヘルス計画に基づく保健事業の推進【継続】

国民健康保険加入者に対する特定健康診査、特定保健指導、受診率・実施率向上対策、糖尿病性腎症重症化予防事業、重複・頻回受診者等訪問指導事業、節目歯科健診などを実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
特定健診受診率	48.7%	51.6%	54.5%	57.4%	60.0%	保険年金課	S55	138

〇予防歯科の推進【拡充】

自宅などで実施する「セルフケア」と、歯科医院などでの「プロフェッショナルケア」を併せて実施することの必要性や具体的な方法の情報発信や啓発を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
健康教育の実施回数(校)	1 校	3 校	9 校	9 校	9 校	健康増進課	S56	140

〇社会体育施設の貸館業務、各種事業の実施【拡充等】

市スポーツ協会を通じた貸館業務及び利用者アンケートでのニーズ把握、各種事業を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
利用者アンケートの満足度	81%	81.5%	82%	82.5%	83%	スポーツ・文化振興課	S57	142

○社会体育施設の修繕・改修【継続】

老朽化した社会体育施設の修繕・改修を計画的に実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
修繕・改修する施設数	2 施設	2 施設	2 施設	2 施設	2 施設	スポーツ・文化振興課	S58	144
利用者アンケートの満足度	61%	62%	63%	64%	65%			

○地域福祉活動や地域づくり、まちづくりへの支援【継続】

地域福祉活動や地域づくり、まちづくりへの支援を行実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
コミュニティソーシャルワーカーの配置人数	3 人	3 人	3 人	3 人	3 人	社会福祉課	S59	146

○情報弱者への配慮(デジタルデバйд対策)(D)【継続】

国のデジタル活用支援推進事業などを活用し、市民利用施設等において、スマホ教室などの講座を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
スマホ教室等の講座の開催回数	15 回	15 回	15 回	15 回	15 回	情報政策課	S60	148

○(再)かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことの啓発

○(再)市内の医療施設に関する現状把握

基本目標 iii 安心して働けるまちをつくる

基本的方向 1. 産業振興と雇用の拡大

まちに活力をもたらす産業の創出

中小企業・小規模事業の経営基盤の強化と市内商業の活性化

豊かな自然・歴史・文化の魅力や、広範な産業構造に配慮し、環境にやさしい産業や付加価値の高い産業の誘導・育成等により、多様性を持った産業構造と足腰の強い産業基盤を構築するとともに、雇用を拡大します。若い世代が家庭を持ち、子育てしやすいまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課・関係課
(再掲)事業所立地数	2,820 件	2,820 件以上	商工観光労政課、企業立地推進課
新規立地件数	1件	基準値以上	企業立地推進課
ワーク・ライフ・バランス登録企業数	37 社	55 社	自治振興課、商工観光労政課
生産性を向上する先端設備等の導入支援件数	13 件	18 件	商工観光労政課
創業者数(延べ)	117件	160 件	商工観光労政課
就業者数	33,735 人	33,735 人以上	商工観光労政課

【具体的取組】

○ワーク・ライフ・バランスについて啓発し、理解を促進【継続】

ワーク・ライフ・バランスに対する理解を深めるため、啓発や情報発信を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
情報発信の回数	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回	自治振興課	S61	150

○先端設備等の導入支援【継続】

先端設備投資への支援を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
先端設備等導入計画の認定件数	18 件	18 件	—	—	—	商工観光労政課	S62	152

○相談事業【継続】

「りっとう経営なんでも相談会」を実施し、様々な課題の相談に応じる。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
相談件数	24 件	24 件	24 件	24 件	24 件	商工観光労政課	S63	154

○空き店舗の活用促進【継続】

空き店舗等活用促進事業補助金制度を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
空き店舗等活用促進事業補助金制度の補助件数	5件	6件	6件	6件	6件	商工観光労政課	S64	156

○市内事業者のデジタル人材育成の支援(D)【継続】

商工会をはじめ、関係機関が行う各種セミナーや研修会の周知を行います。

年次計画	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
関係機関が行う各種セミナーや研修会の周知	実施	実施	実施	実施	実施	商工観光労政課	S65	158

○(再)労働環境の改善支援

○(再)創業支援事業

○(再)市内企業のデジタル化・省力化の促進(D)

○(再)都市計画マスタープランにおける土地利用のあり方検討

○(再)企業立地推進計画に基づく民間開発の促進

○(再)東部地区におけるインフラ整備

○(再)創業支援事業

基本的方向 2. 持続可能な農業経営の確立

農林業の振興支援による活性化の推進

新規就農者・定年帰農者への支援や農産物の付加価値の向上、スマート化の推進などにより、女性や若者も含めた様々な人材が活躍できる魅力ある産業化を図ります。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課・関係課
農地集積率	71.5%	73.9%	農林課
認定新規就農者数(認定農業者数)	6人	10人	農林課

【具体的取組】

○市認定ブランドの創出【拡充等】

農業者の団体や個人から栗東産農産物の認証申請がされるようにJAと連携して取り組み、農産物をブランド認証していきます。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
ブランド認証件数	1件	2件	2件	3件	3件	農林課	S66	160

○担い手確保・育成【拡充等】

新規就農を希望する人に農産物の生産に必要な知識や技術を学べる場を JA や県等と連携して提供し、就農相談を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
チャレンジ農業塾への参加者数	2 人	2 人	3 人	3 人	4 人	農林課	S67	162

基本目標 iv 選ばれるまちをつくる

基本的方向 1. 関係人口の拡大とシビックプライドの醸成

多くの人が関わるまちづくり

関係人口の創出・拡大に向けた取組の充実により、魅力あふれる地域づくりを進めるとともに、市民の栗東市への愛着を育みます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課・関係課
転入者数	3,535 人	3,550 人	企画政策課
SNS(市公式アカウント)フォロワー数	2,721 人	21,000 人	シティ・プロモーション推進課
「まちの中で自分が愛着や誇りを感じているもの」を言える市民の割合	43.1%	52%	シティ・プロモーション推進課
市 HP アクセス数	76,243 件/月平均	80,000件/月平均	シティ・プロモーション推進課

【具体的取組】

OSNS を活用した市の PR、有益な情報・魅力ある情報の発信(D)【拡充等】

情報拡散が期待できるSNS等を活用した市のPRを行うことで、市の情報に触れる機会を増やし、市の認知度アップに繋がります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
新規 SNS の運用開始	1	—	—	—	—	シティ・プロモーション推進課	S68	164

○オープンデータの整備(D)【拡充等】

市の保有するデータを機械判読に適した形式に整備し、公開します

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
オープンデータ公開数	8 件	10 件	12 件	14 件	17 件	企画政策課	S69	168

○出前講座への講師派遣【維持】

他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業に講師を派遣します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
出前講座への出講回数	12 回	12 回	12 回	12 回	12 回	歴史民俗博物館	S70	168

○博物館教室「昔の暮らし」の開催【維持】

小学校 3 年生の社会科学習「市の様子の移り変わり」に対応する、移築民家旧中島家住宅(登録有形文化財)を活用した体験学習プログラムを実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
受講した市立小学校の数	9校	9校	9校	9校	9校	歴史民俗博物館	S71	170
受講した市立校以外の小学校の数	13校	13校	13校	13校	13校			

○(再)移住者・交流者向け PR や情報発信

基本的方向 2. 地域資源を活かしたまちづくり

地域資源を活かしたまちづくりの推進

デジタル技術を活用した二拠点居住や移住・定住に向けた取組の充実により、地方と都市をつなぐ人材の裾野を広げ、選ばれるまちづくりを進めます。

【重要業績評価指標(KPI)】

主な数値目標(KPI)	基準値	目標値	担当課・関係課
観光消費額	2,976 百万円	3,976 百万円	商工観光労政課
観光入込客数	103.8 万人	131.8 万人	商工観光労政課
「栗東と言えば馬のまち」と感じる市民の割合	67.6%	83.1%	広報課

【具体的取組】

○栗東の魅力を活かした付加価値の高いコンテンツの提供【拡充等】

自然や歴史に触れる観光の促進、栗東の魅力を生かした付加価値の高いコンテンツを提供します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
(一社)栗東市観光協会への補助事業の支援回数	5 回	5 回	5 回	5 回	5 回	商工観光労政課	S72	172

○特名産品、観光産業の活性化【拡充等】

観光の高付加価値化とシビックプライドの醸成を図ります。地域一帯で取り組む観光産業の育成・高付加価値化を図ります。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
物産展出品回数	5 回	5 回	5 回	5 回	5 回	商工観光労政課	S73	174

○観光に関する情報発信の強化・充実【拡充等】

効果的なプロモーションや情報発信・交流を実施します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
LINE 投稿回数	9 回	9 回	9 回	9 回	9 回	商工観光労政課	S74	176

○「馬」関連ふるさと納税返礼品の充実【拡充等】

馬関連のグッズや体験をふるさと納税の返礼品とし、「馬のまち」のPRを行います。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
馬関連返礼品取扱事業者数	11 者	11 者	11 者	11 者	11 者	シティ・プロモーション推進課	S75	178
返礼品の情報発信の回数	5 回	5 回	5 回	5 回	5 回			

○観光情報の発信や観光事業の面から馬を活かしたまちづくりなどに DX 推進を検討(D)【拡充等】

観光に関する DX の推進、必要に応じたアンケート調査等の実施によるデータの収集と提供を行います。

年次計画	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
観光に関する DX の推進、必要に応じたアンケート調査等の実施によるデータの収集と提供	調査・研究	検討	準備	実施	実施	商工観光労政課	S76	180

○歴史民俗博物館での展覧会の開催【継続】

地域の博物館として、市の豊かな歴史や文化を取り上げた展覧会を開催します。

活動(アウトプット)指標	R7	R8	R9	R10	R11	担当課	整理No.	項
特集展示等の開催回数	5 本	5 本	5 本	5 本	5 本	歴史民俗博物館	S77	182
歴史民俗博物館への入館者数	11,000 人	11,000 人	11,000 人	11,000 人	11,000 人			

○(再)「馬」関連事業の企画と実施

取組シートの見方

総合戦略および行革大綱の取組と、手段としての DX とは密接に関連することから、これらを効率的・効果的に推進するために、3つの実行計画を一体的に作成します。そのため3つの実行計画の「取組シート」は共通とし、各実行計画を連動させながら、取組の進行管理や毎年の見直しについて実施していきます。

【取組シート】

総合戦略実行計画	行革大綱実行計画	DX推進計画
No. S28	No. G-1	No. D-1

1

1. 担当課名	情報政策課 関係所属: 全所属					
2. 事業(取組)名称	手続きのオンライン化の拡充			事業コード	-	
3. 現状と課題	戦略の視点	一定の手続きのオンライン化は進んだものの、市民等の利便性向上のためには、さらにオンライン化を促進する必要がある。				
	行革の視点	窓口対応の時間及び紙申請をシステムへ入力する時間を削減する必要がある。				
4. 事業(取組)概要	行政手続きの件数の多寡、課題を考慮し、優先順位の高いものから順に、手続きのオンライン化をさらに進める。					
5. 期待される効果	戦略の視点	手続きのオンライン化が進むほど、市役所に来なくとも行政手続きが完了するため、さらなる市民の利便性の向上を図ることができる。				
	行革の視点	入力ミスを減らし、入力時間の短縮を図ることができる。 紙の申請書管理が軽減する。				
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1 良好な住環境の整備促進	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		行政手続きのオンライン化率			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	1.効率化・重点化による市民サービスの向上		項目	(1)スマート窓口の推進	
8. DX推進計画との関連性の有無	有					
9. 年次計画						
① 電子申請による行政手続きのオンライン化	スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	計画	拡充	拡充	拡充	拡充	拡充
	実績					
① 電子申請による行政手続きのオンライン化率	スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	計画	35%	45%	55%	65%	75%
	実績					
算出方法		電子申請済み手続き÷行政手続きの数(年間100件以上の行政手続き) 現状値: 25%				
	評価					

1 番号欄

3つの実行計画の関連を示すため、各実行計画の整理番号を記載しています。

2 取組の内容

取組を進めるべき本市の現状と課題、取組を進めることにより期待される効果等について、総合戦略および行革大綱の2つのビジョンのうち、対応する視点から記載しています。

なお、DX に関連した取組(DX 推進計画に記載の取組)においては、「3.現状と課題」および「5.期待される効果」における「戦略の視点」は「DX を手段とする『戦略の視点』を、「行革の視点」は「DX を手段とする『行革の視点』を意味します。

11. 年度目標と取組成果			
令和7年度	年度目標	年間1,000件以上の電子申請手続きを全てオンライン化する。また、子育て関連の行政手続きのうち件数の多い手続きを優先し、オンライン化する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンライン化を進める。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンライン化を進める。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンライン化を進める。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンライン化を進める。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

3 取組の位置づけ

(総合戦略)それぞれの取組が、総合戦略におけるいずれの「基本目標」、「基本的方向」、「施策の方向」の位置づけに該当するか、また、重点プロジェクトの取組に該当する場合には、どのプロジェクトに該当する取組なのか、事業に関連する KPI は何か、を表しています。

(行革大綱)それぞれの取組が、行革大綱におけるいずれの「方針」、「項目」の位置づけに該当するかを表しています。

(DX 推進計画)総合戦略および行革大綱の実行計画において、DX 推進計画と関連があるものには、関連性の有無の欄に「有」と表示します

4 取組の進め方

取組を進めるうえでの、年次的な進行計画および達成すべき目標について記載しています。

5 年度目標と取組成果

取組に対する年度ごとの進行目標(具体的な取組概要)、年度を通して達成した実績、次年度に向けての課題や今後の対応策等について記載しています。

年度ごとに、それぞれの取組に対する評価を行い、シートを更新していきます。

なお、実行計画作成段階では「年度目標」の欄までを記載し、評価・検証の段階で取組成果について追記していきます。

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S1	No.		No.	

1. 担当課名	住宅課		
2. 事業(取組)名称	都市計画法第34条11号、12号による指定区域の拡大		事業コード(あれば)841
3. 現状と課題	戦略の視点	市街化調整区域における既存集落等の空洞化の防止を図る必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	都市計画法第34条11号、12号による指定区域の拡大を図る。		
5. 期待される効果	戦略の視点	管理不全空家等の防止、若年層の移住による地域の活性化	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		1.子育て世代向け住宅施策プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		住宅着工件数、空き家率			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	指定区域の拡大	計画	検討・実施	調査	課題抽出	検討	検討・実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	新たに指定する区域の数	計画	1区域	-	-	-	1区域以上
	算出方法	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	区域指定の基準見直しを検討・実施し、都市計画法第34条11号、12号区域の指定を実施する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	未指定の既存集落等の区域指定に向けた調査を実施する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	調査結果を受けて区域指定に向けた課題を抽出する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標	区域指定に向けた課題への対策を検討する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標	区域指定の基準見直しを検討・実施し、都市計画法第34条11号、12号区域の指定を実施する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

		総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
		No.	S2	No.		No.	
1. 担当課名	都市計画 課						
2. 事業	都市計画マスタープランにおける土地利用のあり方検討				事業コード(あれば)		840
3. 現状と課題	戦略の視点	・人口の社会減や市外への転出に対応するため、需要のある地域での住宅供給や良好な住環境の整備を推進する必要がある。 ・まちに活力もたらす産業の創出のため、立地の需要やポテンシャルが高まってきた地域での土地利用のあり方を検討する必要がある。					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	都市計画マスタープランや企業立地推進計画に位置付けられた地域での地区計画等による土地利用を促進する。						
5. 期待される効果	戦略の視点	ニーズに応じた土地利用による定住化・企業立地の促進、住宅着工件数の維持及び増加					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進	
	基本目標2	Ⅲ安心して働けるまちをつくる	基本的方向2	1産業振興と雇用拡大	施策の方向2	まちに活力をもたらす産業の創出	
	該当する重点プロジェクト			1.子育て世代向け住宅施策プロジェクト			
				3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI			住宅着工件数(5年平均値)		商業施設数(小売業)	
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—		
8. DX推進計画との関連性の有無	無						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	都市計画マスタープランに基づく土地利用の促進	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	地区計画決定件数 算出方法 地区計画決定告示の件数を1件とする決定件数	計画	1件	1件	1件	1件	1件
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	都市計画マスタープランの中間検証及び見直しを実施し、土地利用の促進を図る。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S3	No.		No.	

1. 担当課名	住宅課		
2. 事業(取組)名称	空き家相談の充実		事業コード(あれば) 878
3. 現状と課題	戦略の視点	空家等の増加が予想されるため、利活用相談や空家化予防の相談の充実を図る必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	NPO法人、関係団体、民間事業等との連携、ホームページやガイドブック等の空家対策情報の充実、空家バンクや子育て・若年世帯向け空家の改修補助事業等を実施する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	空家の発生を抑制し、住み替えや定住促進による流入確保。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		1.子育て世代向け住宅施策プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		空き家率(住宅土地統計調査)		市の支援制度等を利用して住宅を取得した件数	
7. 行革大綱での位置づけ	方針				項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	NPO法人、関係団体、民間事業等との連携、ホームページやガイドブック等の空家対策情報の充実	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	りっとう空き家バンクや子育て・若年世帯向け空家の改修補助事業の継続実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	戸建て空家増加数(空家等現況調査)	計画	R4と比べ50戸以下	—	—	R7と比べ50戸以下	—
	算出方法	3年毎に実施する空家等現況調査にて、前回調査からの増加戸数 (栗東市空家等対策計画目標値:令和4年度403戸⇒令和16年度600戸以下)	実績				
		評価					
②	市の支援制度等を利用して住宅を取得した件数	計画	6.5件(累計)	8件(累計)	9.5件(累計)	11件(累計)	12.5件(累計)
	算出方法	りっとう空き家バンク等の支援制度を利用して住宅取得に至った件数 (栗東市空家等対策計画目標値:令和6年度5件⇒令和16年度20件以上(1年に1.5件増))	実績				
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①空家関連事業者登録制度の創設及びりっとう空き家バンクホームページの充実を図る。 ②空家の出張相談及び空家セミナーを実施し、相談機会の充実を図る。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S4	No.		No.	

総合戦略・行政改革大綱実行計画、DX推進計画【個票】

1. 担当課名	企画政策 課						
2. 事業(取組)名称	移住者・交流者向けPRや情報発信			事業コード(あれば)	—		
3. 現状と課題	戦略の視点	人口の社会減が続く中、選ばれるまちになるために移住・交流ニーズを把握し、促進する必要がある。					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	滋賀移住・交流促進協議会等に参画し、戦略的に情報発信・PR活動を展開するとともに、団体間での情報共有を図る						
5. 期待される効果	戦略の視点	移住・交流促進に係る情報発信・PRによる市への関心度の向上、移住・交流人口の創出					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iv選ばれるまちをつくる	基本的方向1	1関係人口の拡大とシビックプライドの養成	施策の方向1	多くの人が関わるまちづくり	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト		1.子育て世代向け住宅施策プロジェクト				
	事業(取組)に関連するKPI		空き家率(住宅土地統計調査)		転入者数		
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—	項目	—			
8. DX推進計画との関連性の有無	無						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	移住者・交流者向け情報発信	計画	準備・実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	移住フェア、情報交換会への参加	計画	準備	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	情報発信の数(回) 算出方法 HPやPR活動で情報発信をした件数	計画	6回	12回	12回	12回	12回
		実績					
		評価					
②	参加回数(回) 算出方法 移住フェアや情報交換会に参加した回数	計画	2回	4回	4回	4回	4回
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①取組初年度となることから、県等と調整のうえ、年次計画を策定し、移住・交流サイト等を活用した情報発信、PRを定期的に行う ②移住フェアや情報交換会に参加し、移住ニーズや他市町の取組を把握する	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	①県のデジ田交付事業(かかわりファクトリー関係)終了後の取組について、県及び他市の動向も踏まえ、方向性を示す。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S5	No.		No.	

1. 担当課名	企画政策 課	
2. 事業(取組)名称	結婚新生活に係る経済的支援	事業コード(あれば)
3. 現状と課題	戦略の視点	20代の転入超過は継続しているが、子育て世代の転出超過が際立っており、転入者をいかに市内に定着してもらうかが課題
4. 事業(取組)概要	経済的理由で結婚に踏み切れない若年世代を対象に住宅取得等に係る費用の一部を補助	
5. 期待される効果	戦略の視点	補助により、若い世代の市内定着を促進

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	1安心して結婚,出産,子育てができるまちづくり	施策の方向1	妊娠,出産,子育てをつなぐ安心の支援
	基本目標2	II住みよいまちをつくる	基本的方向2	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向2	良好な住環境の整備促進
	該当する重点プロジェクト		1.子育て世代向け住宅施策プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		市の支援制度等を利用して住宅を取得した件数		婚姻件数	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	支援制度の実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	支援制度の利用者数	計画	59件	60件	60件	60件	60件
	算出方法 結婚新生活支援制度の年間利用者の数	実績					
		評価					
②	支援制度を利用して住宅を取得した件数(R5年度からの累計)	計画	5件	8件	12件	16件	20件
	算出方法 結婚新生活支援制度の年間利用者のうち、住宅取得者数	実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	・制度改正を行い、住宅取得に係る補助を拡充することで、住宅取得の促進を図る。 ・年度中の状況を検証したうえで、次年度の制度設計を行う。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S6	No.	G-6	No.	D-6

1. 担当課名	子育て支援 課					
2. 事業(取組)名称	学童保育所の整備			事業コード(あれば)	3302	
3. 現状と課題	戦略の視点	特に若い子育て世帯において、子どもの成長にあわせ子育て環境の面を重視し、転出するケースが多い。子育て環境の充実を実現するため、学童保育所の整備を行い、ニーズ量の確保を図ることが必要です。				
	行革の視点					
4. 事業(取組)概要	入所児童の増加にあわせて、民設学童保育所の開設や公共施設や公共用地の空きスペースの活用による整備を行う。					
5. 期待される効果	戦略の視点	ニーズ量に応じた整備を行うことで、仕事と子育てを両立しやすいまちづくりを進め、保育環境の充実が期待される。				
	行革の視点					
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1	働きながら安心して子育てができる環境づくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		2.子ども・子育て支援プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		待機児童数			
7. 行革大綱での位置づけ	方針		項目			
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	前年度に次年度の確保方策を検討	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	待機児童数	計画	0人	0人	0人	0人	0人
	算出方法	各年4月1日時点の利用者数にて算定	実績				
	評価						
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	令和8年度に定員超過が予想される、金勝・葉山・葉山東・治田・治田西小学校区において確保方策の検討	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画	行革大綱実行計画	DX推進計画
No. S7	No.	No.

1. 担当課名	幼児 課					
2. 事業(取組)名称	保育人材の確保			事業コード(あれば)		
3. 現状と課題	戦略の視点	待機児童の解消や健やかな保育環境の充実を図るため保育人材確保に向けた対応が必要。				
	行革の視点					
4. 事業(取組)概要	就職フェア・相談会の開催等により保育人材の確保を図る。					
5. 期待される効果	戦略の視点	待機児童問題の解消、保育の質向上、保育環境の充実				
	行革の視点					
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1	働きながら安心して子育てができる環境づくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		2.子ども・子育て支援プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		待機児童数			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	就職フェア・相談会の開催	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	就職フェア・相談会の開催数(回)	計画	10回	10回	10回	10回	10回
	算出方法	就職フェア(2回/年) 就職相談会(2回/月) ※就職相談会は、保育園一斉申込時期に 合わせ9～12月での開催とする。					
		実績					
②		計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①就職フェアや相談会を開催する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S8	No.		No.	

1. 担当課名	幼児 課	
2. 事業(取組)名称	こども園(幼稚園・保育所のこども園化を含む)の整備	事業コード(あれば)
3. 現状と課題	戦略の視点	多様な保育ニーズや社会の変化に柔軟に対応し、子どもの育ちにふさわしい教育・保育環境の充実を図る必要がある。
	行革の視点	施設整備や園運営に係る経費について、国等からの財源を活用し行政運営の効率化を図り、民間のもつ柔軟性や効率性などを活かした保育サービスの充実を図っていく必要がある。
4. 事業(取組)概要	子ども・子育て支援事業計画や栗東市就学前教育・保育施設の再編(認定こども園化)の推進に基づき、公立園の民設民営化や新規法人立認定こども園の誘致を推進する。	
5. 期待される効果	戦略の視点	新たな幼児教育・保育施設の受皿確保により、働きながら安心して子育てができる環境や多様化する教育・保育ニーズへの対応の充実が図れる。
	行革の視点	施設整備や園運営に係る経費について、国等からの財源を活用することにより行政運営の効率化が図れ、新たな保育サービスの充実につながる。

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	1子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	2働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1	働きながら安心して子育てができる環境づくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト			2.子ども・子育て支援プロジェクト		
	事業(取組)に関連するKPI			待機児童数		
7. 行革大綱での位置づけ	方針	4.民間事業者など多様な主体との連携		項目	(3)公立園の民設民営化及び新規法人立認定こども園の誘致	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	新規法人立認定こども園誘致	計画	準備	実施(開園)			
		実績					
		評価					
②	公立園(治田保育園)の民設民営化	計画	準備	準備	準備	実施(開園)	
		実績					
		評価					
③	公立園(幼稚園)のこども園化	計画		実施			
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	新規法人立認定こども園誘致 算出方法 開園施設数	計画	-	1施設			
		実績					
		評価					
②	公立園(治田保育園)の民設民営化 算出方法 開園施設数	計画	-	-	-	1施設	
		実績					
		評価					
③	公立園(幼稚園)のこども園化 算出方法 こども園化する施設数 R8:葉山、葉山東、治田西幼稚園	計画		3施設			
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①施設整備に係る交付金手続きを進める。 ②治田保育園建替用地の取得に向け、用地測量や不動産鑑定、用地交渉などを進める。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S9	No.		No.	

1. 担当課名	学校教育課		課			
2. 事業(取組)名称	学びに向かう力の向上策・学力向上「セレクト・パッケージ」			事業コード(あれば)		
3. 現状と課題	戦略の視点	一律に各校へ学力向上の取組を提示しているが、学校の実態に合っていない場合がある。				
	行革の視点					
4. 事業(取組)概要	各校が子どもの実態分析を基にして方略を選択できるように、学校の「主体性・独自性」を重視した学力向上の取組、学力向上「セレクト・パッケージ」を提示する。					
5. 期待される効果	戦略の視点	各校の実態に応じた取組を選択できるようになったので、学校主体で課題を明確にして取り組める。				
	行革の視点					
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいきいきと育つまちづくり	施策の方向1	生きる力を育む教育環境の整備
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		2.子ども・子育て支援プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		全国学力学習状況調査(国語)の滋賀県正答率と本市正答率との比較		全国学力学習状況調査(算数・数学)の滋賀県正答率と本市正答率との比較	
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	各校の実態に応じた学力向上「セレクト・パッケージ」を検討・提示する。	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	全国学力学習状況調査(国語)の滋賀県正答率と本市正答率との比較 算出方法	計画	小△4.6% 中△5.4%	小△4.1% 中△4.9%	小△3.6% 中△4.4%	小△3.1% 中△3.9%	小△2.6% 中△3.4%
		実績					
		評価					
②	全国学力学習状況調査(算数・数学)の滋賀県正答率と本市正答率との比較 算出方法	計画	小△3.2% 中△5.9%	小△2.7% 中△5.4%	小△2.2% 中△4.9%	小△1.7% 中△4.4%	小△1.2% 中△3.9%
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	各校のニーズに応じた5つのパッケージ・メニューを用意する。令和7年度の学力・学習状況調査の結果から令和8年度のパッケージ・メニューを検討する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画			
No.	S10	No.		No.			
1. 担当課名	学校教育課 課						
2. 事業(取組)名称	校内教育支援センターの拡充による不登校等児童生徒の居場所確保			事業コード(あれば)			
3. 現状と課題	戦略の視点	不登校・不適應児童生徒が年々増加していることから、家庭と教室以外で子どもの学び場の確保が必要である。					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	教室以外で不登校・不適應児童生徒が安心して学校に通える場所が必要なため、校内教育支援センターの運営環境を整え、子どもの居場所を確保する。						
5. 期待される効果	戦略の視点	校内教育支援センターの運営環境を整備することで、教室以外の居場所の確保を図り、不登校・不適應児童生徒の登校回数が増える。					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいいきと育つまちづくり	施策の方向1	すべての子どもの育ちの支援	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト		2.子ども・子育て支援プロジェクト				
	事業(取組)に関連するKPI		不登校等児童生徒の居場所保有率				
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—		
8. DX推進計画との関連性の有無	無						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 校内教育支援センターに専任支援員を配置して運営環境を整え、不登校・不適應児童生徒の居場所を確保する。	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績						
	評価						
②	計画						
	実績						
	評価						
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 不登校等児童生徒の居場所保有率	計画	70%	80%	90%	90%	90%	
	算出方法	「家庭と教室以外の場所で支援している児童生徒」÷「児童生徒支援対象数(不登校・不適應児童生徒数)」×「支援月報2月期」を基準月として算出する。					
	実績						
②	計画						
	算出方法						
	実績						
	計画						
	実績						
	評価						

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	校内教育支援センター専任支援員配置校(8校)を中心に不登校等児童生徒の居場所保有率を70%まで引き上げる。(令和6年度の不登校児童生徒の居場所保有率は57.5%)	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S11	No.		No.	D-27

1. 担当課名	学校教育課		
2. 事業(取組)名称	学ぶ力向上に向けての学校DXの推進		事業コード(あれば)
3. 現状と課題	戦略の視点	市内小中学校における1人一台端末を使用しての学習が定着し、更なる学ぶ力が向上につながる学校DXのICT環境整備と活用の推進が必要。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	1人一台端末や授業支援システム、デジタルドリルなどの学校DXの環境を整え、加えて活用できるようになる研修会を計画・実施する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	授業支援システムとデジタルドリルを活用した授業改善により、市内小中学校の児童生徒の学びへの意欲向上。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいきいきと育つまちづくり	施策の方向1	生きる力を育む教育環境の整備
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		2.子ども・子育て支援プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		授業の内容がよく分かる児童(6年生)の割合		授業の内容がよく分かる生徒(中学3年生)の割合	
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	有					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	市内小中学校の教職員がICT機器(授業支援システム・デジタルドリルなど)を活用できるようになる研修会を計画・実施する。	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	授業の内容がよく分かる児童(6年生)の割合	計画	86.0%	86.0%	86.0%	87.0%	88.0%
	算出方法 毎年実施される学力学習状況調査の児童質問紙「授業の内容はよく分かる」の国語と算数の平均値。	実績					
		評価					
②	授業の内容がよく分かる生徒(中学3年生)の割合	計画	78.0%	78.5%	79.0%	79.5%	80.0%
	算出方法 毎年実施される学力学習状況調査の生徒質問紙「授業の内容はよく分かる」の国語と数学の平均値。	実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	ICT利活用担当者会や研修会、ICT機器(授業支援システム・デジタルドリルなど)を活用した授業研究会など、年間5回以上行う。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S12	No.		No.	

1. 担当課名	社会福祉 課					
2. 事業(取組)名称	自分のペースで緩やかに「他者(ひと)」と繋がれる居場所づくり			事業コード(あれば)	3369	
3. 現状と課題	戦略の視点	自ら相談に行くことが難しく、困難を抱えていること自体に気づいていないケースもあることから、地域で課題を抱える人が、より相談に繋がしやすい環境や仕組みを作る事が求められている。				
	行革の視点					
4. 事業(取組)概要	市内在住の子ども、若者が、自分のペースで過ごせる場所を開設する。					
5. 期待される効果	戦略の視点	各福祉分野における既存の社会参加に向けた事業では対応できない者に対し、孤立を防ぎ、社会とのつながりを回復するためのきっかけを作る。				
	行革の視点					
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいきいきと育つまちづくり	施策の方向1	すべての子どもの育ちの支援
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		2.子ども・子育て支援プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		子どもの居場所の数			
7. 行革大綱での位置づけ	方針		項目			
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	居場所の開設	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	支援課題の解決、社会資源の開発に向けた協議及び検討	計画	検討	準備	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	居場所の開設数 算出方法 市内在住の子ども、若者が、自分のペースで過ごせる場所の開設数	計画	2か所	2か所	3か所	3か所	3か所
		実績					
		評価					
②	体制推進会議・共生社会推進会議の開催回数 算出方法 支援課題の解決、社会資源の開発に向けた協議及び検討	計画	1回	2回	2回	2回	2回
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①市内2か所でニーズに合わせて、市内在住の子ども、若者が、自分のペースで過ごせる場所の開設を行う。 ②支援課題の解決、社会資源の開発に向けた協議及び検討を行い手法を確立していく。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S13	No.		No.	

1. 担当課名	社会福祉課		
2. 事業(取組)名称	生活困窮世帯の自立に向けた子どもの学習支援や居場所づくり		事業コード(あれば)305
3. 現状と課題	戦略の視点	対象者の利用人数が少ないことやサポーターの確保が困難であることから、制度周知のため、学校等への制度説明を実施し、各関係機関と連携を図る必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	市内2か所において、中学生・高校生で支援の必要な子どもたちの学習支援とともに、生活習慣や育成環境の相談支援に取組むとともに、居場所として支援する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	学習や相談を通じて、子どもたちが人との関わりの中で、温かさや優しさを感じられる、安心した居場所となる。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいきいきと育つまちづくり	施策の方向1	すべての子どもの育ちの支援
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		2.子ども・子育て支援プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針				項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	市内2か所で支援の必要な中高生を対象とした学習支援の実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	「べんきょう会」の実施回数 算出方法 ゆうあいの家及びコミュニティセンター葉山東で「べんきょう会」を実施した回数。	計画	90回	90回	90回	90回	90回
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	今後、利用を希望する生徒の増加が見込まれることから、円滑に受け入れるため、サポーターを増員して対応し、支援を必要としている子どもとその家庭の安心の場、ひいては地域の居場所となることを目指す。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S14	No.		No.	D-26

1. 担当課名	子育て支援 課					
2. 事業(取組)名称	子育て情報の収集・発信の充実			事業コード(あれば)		
3. 現状と課題	戦略の視点	核家族化、地域関係の希薄化等により、子育て情報が得にくい現状があることから、情報の一元化や、子育てに役立つコンテンツを充実させるとともに、さまざまな媒体を活用し、子育て世帯のニーズにあった情報をわかりやすく提供していく必要がある。				
	行革の視点					
4. 事業(取組)概要	子育てに関する制度や情報を収集し、広報やホームページ、LINE、子育てアプリ、YouTube等を活用し、子育て情報へアクセスしやすい形で発信する。					
5. 期待される効果	戦略の視点	子育て世帯のニーズにあった情報を発信することにより、子育ての悩みに関する不安解消につながる。				
	行革の視点					
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	1安心して結婚,出産,子育てができるまちづくり	施策の方向1	妊娠・出産・子育てをつなぐ安心の支援
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		2.子ども・子育て支援プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針		項目			
8. DX推進計画との関連性の有無	有					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	市ホームページ子育て特設サイトの運営	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	LINE、子育てアプリでの配信	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	市ホームページ子育て特設サイトトップページアクセス数(月平均)	計画	1450回	1700回	1950回	2200回	2450回
	算出方法 1204回(令和6年度 月平均) 毎年度250回増で計算	実績					
		評価					
②	LINE、子育てアプリ配信回数(月平均)	計画	3回	3回	3回	3回	3回
	算出方法 LINE配信回数と子育てアプリの配信回数の合計数	実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	子育て情報の発信内容の整理・充実	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策	継続	
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S15	No.		No.	

1. 担当課名	危機管理課 課							
2. 事業(取組)名称	防犯環境(防犯灯・防犯カメラ)の整備			事業コード(あれば)	292			
3. 現状と課題	戦略の視点	防犯灯の適切な新設・修繕、防犯カメラの設置補助金制度の周知、加えて新たな事業として通学路等順次新たに市が防犯カメラを設置し、犯罪認知件数の減少率を把握し、より環境の整備を推進する必要がある。						
	行革の視点							
4. 事業(取組)概要	優先順位をつけ、防犯カメラの設置を推進する。							
5. 期待される効果	戦略の視点	防犯カメラを設置することによる防犯効果の向上、また、検挙率向上にも繋がり、犯罪認知件数の減少を図る。						
	行革の視点							
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進		
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2			
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI		犯罪認知件数					
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—	項目					
8. DX推進計画との関連性の有無	無							
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
①	防犯カメラの設置	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
		実績						
		評価						
②	防犯灯の適切な新設・修繕	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
		実績						
		評価						
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
①	実施件数(防犯カメラ) 算出方法	計画	30件	30件	29件			
		実績						
		評価						
②	LED防犯灯設置件数 算出方法	計画	14件	14件	14件			
		実績						
		評価						

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①新たな防犯カメラ30台を設置し、適正な運用に努め、新たな設置箇所の参考とし、犯罪認知件数の減少に向け定期的な設置箇所の検証を行う。②防犯灯の設置について、通学路等適正な管理に努め、長寿命省電力のLED化等充実を図る。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	①設置済の30台の防犯カメラの適正な維持管理・運用に努め、新たにセットする30台の防犯カメラの設置箇所の参考とし、犯罪認知件数の減少に向け定期的な設置箇所の検証を行う。②防犯灯の設置について、通学路等適正な管理に努め、長寿命省電力のLED化等充実を図る。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	①設置済の60台の防犯カメラの適正な維持管理・運用に努め、新たに設置する29台の防犯カメラの設置箇所の参考とし、犯罪認知件数の減少に向け定期的な設置箇所の検証を行う。②防犯灯の設置について、通学路等適正な管理に努め、長寿命省電力のLED化等充実を図る。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S16	No.		No.	

1. 担当課名	商工観光労政 課		
2. 事業(取組)名称	創業支援事業		事業コード(あれば) 0706
3. 現状と課題	戦略の視点	物価高騰など厳しい社会経済状況にあっても創業活動が停滞しないように支援をしていく必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	「りっとう創業塾」を実施する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	創業に必要な情報を発信し、創業活動の支援をする。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iii 安心して働けるまちをつくる	基本的方向1	1産業振興と雇用拡大	施策の方向1	まちに活力をもたらす産業の創出
	基本目標2	iii 安心して働けるまちをつくる	基本的方向2	1産業振興と雇用拡大	施策の方向2	中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と市内商業の活性化
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		事業所立地数		創業者数(延べ)	
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目		
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	「りっとう創業塾」の実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	受講者数	計画	48人	48人	48人	48人	48人
	算出方法 「りっとう創業塾」の受講者数	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	「りっとう創業塾」を実施し、経営、販路開拓、財務、人材育成といった創業に関する必要な基礎知識を学べる全4回の講座の開催により創業活動を支援する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S17	No.		No.	D-30

1. 担当課名	商工観光労政 課		
2. 事業(取組)名称	市内企業のデジタル化・省力化の促進		事業コード(あれば) 0706
3. 現状と課題	戦略の視点	物価高騰や賃上げの影響がある中で、市内企業が生産性向上等の取り組みにより、経営の持続と発達を図る必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	市内企業の生産性向上のためのデジタル化を推進し、経営の持続と発達に繋げる。		
5. 期待される効果	戦略の視点	市内企業のデジタル化を進めることによって生産性向上や労働環境の改善を図る。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iii 安心して働けるまちをつくる	基本的方向1	1産業振興と雇用拡大	施策の方向1	まちに活力をもたらす産業の創出
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		事業所立地数			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目		
8. DX推進計画との関連性の有無	有					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	デジタル化導入に対する補助金	計画	実施				
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	申請件数	計画	25件				
	算出方法 補助金の申請件数	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	中小企業者等物価高騰対策デジタル化促進補助金事業を実施し、市内企業が取り組むデジタル化事業の経費に対して補助金を交付することによって、業務の効率化及び経費節減を図る。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S18	No.		No.	

1. 担当課名	企業立地推進課		
2. 事業（取組）名称	企業立地推進計画に基づく民間開発の促進	事業コード（あれば）	0714
3. 現状と課題	戦略の視点	安定した雇用や良好な就業環境の確保が必要である。	
	行革の視点	-	
4. 事業（取組）概要	新たな企業立地の促進に向けた環境整備や支援の充実		
5. 期待される効果	戦略の視点	雇用の創出と拡大	
	行革の視点	-	

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iii 安心して働けるまちをつくる	基本的方向1	1産業振興と雇用拡大	施策の方向1	まちに活力をもたらす産業の創出
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		新規立地件数			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	企業立地支援	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	新規立地件数	計画	0	0	0	0	1件
	算出方法	立地支援企業の操業時点を1件とする立地件数。					
		実績					
②		計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①市内企業の事業拡大や進出意向企業のニーズや課題を把握し、立地に向けた助言や関係部署との調整を行う。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	①市内企業の事業拡大や進出意向企業のニーズや課題を把握し、立地に向けた助言や関係部署との調整を行う。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	①市内企業の事業拡大や進出意向企業のニーズや課題を把握し、立地に向けた助言や関係部署との調整を行う。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標	①市内企業の事業拡大や進出意向企業のニーズや課題を把握し、立地に向けた助言や関係部署との調整を行う。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標	①市内企業の事業拡大や進出意向企業のニーズや課題を把握し、立地に向けた助言や関係部署との調整を行う。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S19	No.		No.	

1. 担当課名	企業立地推進課		
2. 事業(取組)名称	東部地区におけるインフラ整備		事業コード(あれば)0869
3. 現状と課題	戦略の視点	付加価値の高い産業の誘導・育成により、多様性を持った産業構造と足腰の強い産業基盤を構築するとともに、雇用を拡大する必要がある。	
	行革の視点	-	
4. 事業(取組)概要	東部地区における新たな産業拠点の形成に向け、アクセス道路として市道の整備及び工業用水道の整備を行う。		
5. 期待される効果	戦略の視点	雇用の創出と拡大	
	行革の視点	-	

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iii 安心して働けるまちをつくる	基本的方向1	1産業振興と雇用拡大	施策の方向1	まちに活力をもたらす産業の創出
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		事業所立地数			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	市道東部六地藏東西線の整備	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	工業用水道の整備	計画	実施	実施	実施	実施	
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	新規立地件数	計画	0	0	0	0	1件
	算出方法	立地支援企業の操業時点を1件とする立地件数。	実績				
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①市道東部六地蔵東西線の用地取得を行う ②工業用水道施設整備工事を実施する	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由		
	今後の方向性・ 対応策		
令和8年度	年度目標	①市道東部六地蔵東西線の用地取得及び工事を行う ②工業用水道施設整備工事を実施する	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和9年度	年度目標	①工業用水道施設整備工事を実施する	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和10年度	年度目標	①工業用水道施設整備工事を実施する	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S20	No.		No.	

1. 担当課名	商工観光労政 課		
2. 事業(取組)名称	商業・サービス業支援		事業コード(あれば) 0706
3. 現状と課題	戦略の視点	地域経済の好循環を実現するため、市内企業の魅力を向上させ、商業の活性化を図る必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	りっとうバル事業の実施。		
5. 期待される効果	戦略の視点	地域や商業の活性化につながるまちの賑わいを創出する。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		商業施設数(小売業)		市内購買率	
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目		
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	りっとうバル実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	参加事業者数	計画	83者	83者	83者	83者	83者
	算出方法	りっとうバルの参加事業者数	実績				
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	りっとうバル事業を実施し、対象店舗でのスタンプラリーにより利用者の複数店舗の利用促進を図り、市内店舗の活性化、新規顧客獲得に寄与し、「まちの賑わい」を創出する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S21	No.		No.	

1. 担当課名	商工観光労政 課						
2. 事業(取組)名称	商業施設立地の検討			事業コード(あれば)	—		
3. 現状と課題	戦略の視点	本市に大規模な商業施設がなく、周辺市の大型施設に市民消費が流出している。					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	商業施設の市内立地の可能性を調査						
5. 期待される効果	戦略の視点	商業施設立地によるまちの賑わいや周辺企業への相乗効果の波及。					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1		基本的方向1		施策の方向1		
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト				
	事業(取組)に関連するKPI		商業施設数(小売業)				
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目			
8. DX推進計画との関連性の有無	無						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	商業施設の市内立地の可能性を調査	計画	調査・研究				
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	算出方法	計画					
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	都市計画マスタープランの見直し(都市計画課)と連携して、商業施設の市内立地の可能性を検討します。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画			
No.	S22	No.		No.			
1. 担当課名	健康運動公園整備事業推進 課						
2. 事業(取組)名称	健康運動公園整備事業			事業コード(あれば)	895		
3. 現状と課題	戦略の視点	一人当たりの緑地面積が少ない中で、都市公園整備の進捗を図る。					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	健康運動公園整備						
5. 期待される効果	戦略の視点	「馬のまち栗東」の特色を活かしながら、人々の多様な交流や日常的な憩いを楽しめる空間の創出					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	I子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいいきと育つまちづくり	施策の方向1	生きる力を育む教育環境の整備	
	基本目標2	II住みよいまちをつくる	基本的方向2	1多様な暮らしを支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向2	良好な住環境の整備促進	
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト				
	事業(取組)に関連するKPI						
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—		
8. DX推進計画との関連性の有無	無						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 公園整備	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績						
	評価						
②	計画						
	実績						
	評価						
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 事業内容 算出方法	計画	設計	設計	工事	工事	工事	
	実績						
	評価						
② 算出方法	計画						
	実績						
	評価						

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	造成設計(測量業務含む)を令和7年度～令和8年度にかけて取り組む。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	造成設計(測量業務含む)を令和7年度～令和8年度にかけて取り組む。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S23	No.		No.	

1. 担当課名	都市計画課		
2. 事業(取組)名称	都市公園の整備推進(草津川跡地)		事業コード(あれば)0894
3. 現状と課題	戦略の視点	子育て世代の地元定着を促進するため、多様な主体・年代が利活用できる環境作りが必要である。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	多様な主体、年代が利活用でき、地域の交流拠点となるよう整備する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	子育てしやすい環境及び健康増進、交流の場としての公園整備を促進することで、まちの定住人口の増加が見込める。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅰ子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいきいきと育つまちづくり	施策の方向1	すべての子どもの育ちの支援
	基本目標2	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向2	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向2	良好な住環境の整備促進
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		都市公園の整備面積			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	用地買収及び工事(R9年度末完成予定)	計画	実施	実施	実施		
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	進捗率	計画	20%	60%	100%		
	算出方法 R9年度未完了予定 ※スケジュール R7年度:残りの用地買収 R8年度:工事(残土処分) R9年度:工事(整備)	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	・滋賀県から残りの用地を購入する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S24	No.		No.	

1. 担当課名	健康増進課		
2. 事業(取組)名称	かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことの啓発		事業コード(あれば)
3. 現状と課題	戦略の視点	若い世代が家庭を持ち、住み続けたいと思うまちづくりの一環として、安心して子育てがしやすい環境整備を行う必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことの啓発を実施する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	身近な住環境内でかかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことで安心して子育てができる環境を構築できる。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	1安心して結婚,出産,子育てができるまちづくり	施策の方向1	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		医療施設数(一般診療所、歯科診療所、助産所)			
7. 行革大綱での位置づけ	方針				項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことの啓発	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	情報発信の数(回)	計画	3回	3回	3回	3回	3回
	算出方法	HPや広報、健康づくりカレンダーで情報発信をした件数	実績				
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持つことの啓発を行う。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S25	No.		No.	

1. 担当課名	健康増進課		
2. 事業(取組)名称	市内の医療施設に関する現状把握		事業コード(あれば)
3. 現状と課題	戦略の視点	若い世代が家庭を持ち、住み続けたいと思うまちづくりの一環として、安心して子育てがしやすい環境整備を行う必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	地域の医療体制については、滋賀県保健医療計画では湖南圏域(草津市・栗東市・守山市・野洲市)として状況把握や課題検討が行われている。そのため、県や草津保健所との連携のもと、市内の医療施設に関する現状把握を実施する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	市内の医療施設に関する現状把握を実施することで医療体制の課題を把握し、安心して子育てができる環境構築の一助となる。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	1安心して結婚,出産,子育てができるまちづくり	施策の方向1	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		医療施設数(一般診療所、歯科診療所、助産所)			
7. 行革大綱での位置づけ	方針			項目		
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	市内の医療施設数(一般診療所、歯科診療所、助産所)の把握	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	市内の医療施設数(一般診療所、歯科診療所、助産所) 算出方法	計画	82施設	82施設	82施設	82施設	82施設以上
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	市内の医療施設数(一般診療所、歯科診療所、助産所)の把握	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画			
No.	S26	No.		No.			
1. 担当課名	土木交通 課						
2. 事業(取組)名称	公共交通の利便性向上			事業コード(あれば)			
3. 現状と課題	戦略の視点	市民の移動手段となる公共交通の利便性向上のために、路線等の見直しが必要。					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	持続可能な地域公共交通ネットワークへの再構築に向け、現在市内を運行する民間乗合バス、コミュニティバス、デマンドタクシー全てを見直す。						
5. 期待される効果	戦略の視点	定時性と利便性が向上することにより、まちづくりについての不満が解消され、利用者増につながる。					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1 良好な住環境の整備促進		
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト				
	事業(取組)に関連するKPI		鉄道/コミュニティバス、タクシーの利用者数				
7. 行革大綱での位置づけ	方針		項目				
8. DX推進計画との関連性の有無	無						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 市内バス路線の見直し	計画	検討	検討・準備	実施			
	実績						
	評価						
②	計画						
	実績						
	評価						
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 市内バス利用者増加率 算出方法 乗降システムにより算出	計画	1%	1%	1%	1%	1%	
	実績						
	評価						
② 算出方法	計画						
	実績						
	評価						

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	利便性を向上させ、利用促進を図るため、路線の見直しを検討する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S27	No.		No.	D-27

1. 担当課名	シティプロモーション推進 課		
2. 事業(取組)名称	・「馬」関連事業の企画と実施		事業コード(あれば) -----
3. 現状と課題	戦略の視点	人口の社会減が続く中、選ばれるまちになるために、「馬のまち」をPRしていく必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	「馬」に関連する事業を展開し、市内外に向けて「馬のまち」のPRを行う。		
5. 期待される効果	戦略の視点	本市にしかできない「馬」関連事業を展開することにより、「馬のまち」としての認知度を高める。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iv選ばれるまちをつくる	基本的方向1	2地域資源を活かしたまちづくり	施策の方向1	地域資源を活かしたまちづくりの推進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		「栗東と言えば馬のまち」と感じる市民の割合			
7. 行革大綱での位置づけ	方針			項目		
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	アニメ・ゲームコンテンツとのコラボイベントの実施	計画	実施	実施	検討	検討	検討
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	イベントの回数	計画	1回	1回	-	-	-
	算出方法 コラボイベントを実施する回数	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	コラボイベントを通じて、市内外の人に「馬のまち」であることをPRする。 コラボイベントの効果や課題を把握し、次年度以降の取り組みに繋げる。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S28	No.	G-1	No.	D-1

1. 担当課名	情報政策課 関係所属:全所属		
2. 事業(取組)名称	手続きのオンライン化の拡充		事業コード(あれば) -
3. 現状と課題	戦略の視点	一定の手続きのオンライン化は進んだものの、市民等の利便性向上のためには、さらにオンライン化を促進する必要がある。	
	行革の視点	窓口対応の時間及び紙申請をシステムへ入力する時間を削減する必要がある。	
4. 事業(取組)概要	行政手続きの件数の多寡、課題を考慮し、優先順位の高いものから順に、手続きのオンライン化をさらに進める。		
5. 期待される効果	戦略の視点	手続きのオンライン化が進むほど、市役所に来なくとも行政手続きが完了するため、さらなる市民の利便性の向上を図ることができる。	
	行革の視点	入力ミスを減らし、入力時間の短縮を図ることができる。 紙の申請書管理が軽減する。	

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		3.(子育て世代)生活基盤充実プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		行政手続きのオンライン化率			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	1.効率化・重点化による市民サービスの向上		項目	(1)スマート窓口の推進	
8. DX推進計画との関連性の有無	有					

9. 年次計画		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	電子申請による行政手続きのオンライン化	計画	拡充	拡充	拡充	拡充	拡充
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	電子申請による行政手続きのオンライン化率	計画	35%	45%	55%	65%	75%
	算出方法	電子申請済み手続き÷行政手続きの数(年間100件以上の行政手続き) 現状値:25%	実績				
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	年間1,000件以上の電子申請手続きを全てオンライン化する。また、子育て関連の行政手続きのうち件数の多い手続きを優先し、オンライン化する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンライン化を進める。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンライン化を進める。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンライン化を進める。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標	子育て関連の行政手続きを中心に、件数の多い手続きを優先してオンライン化を進める。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S29	No.		No.	

1. 担当課名	子育て支援 課					
2. 事業(取組)名称	地域における子育て支援の場の提供(児童館・地域子育て支援センター)			事業コード(あれば)	3343	
3. 現状と課題	戦略の視点	子育て世代において、子育てしやすい環境を求め転出する傾向にあることから、子育て世帯にやさしい空間づくりや相談体制などの環境整備が必要である。				
	行革の視点					
4. 事業(取組)概要	①子育て中の親子の交流の場の提供 ②子育て等に関する相談、援助の実施 ③地域の子育て関連情報の提供 ④利用者ニーズをとらえた子育て及び子育て支援に関する講習等の実施					
5. 期待される効果	戦略の視点	子育ての悩みを聞いて貰うとともに保護者同士の繋がりも生まれるため、子育てへの不安や孤独感の解消に繋がることが期待できる。				
	行革の視点					
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	1安心して結婚、出産、子育てができるまちづくり	施策の方向1	妊娠・出産・子育てをつなぐ安心の支援
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI		15～49歳の女性の人口に対する年間出生数の割合			
7. 行革大綱での位置づけ	方針		項目			
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	地域子育て支援センターや児童館における子育て相談や子育て講座等を実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	子育て情報の発信と子育て中の親子を中心とした仲間づくり支援	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	利用者数の向上	計画	84565人	82405人	80647人	79233人	78367人
	算出方法 子育て(包括)支援センターおよび児童館における利用実績を基に算出	実績					
		評価					
②	利用率の維持	計画	427.5%	427.5%	427.5%	427.5%	427.5%
	算出方法 子育て(包括)支援センターおよび児童館における利用実績を基に人口推計からの利用率を算出 ※R5の0～17歳利用延べ人数／R5の0～17歳人口×100	実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	子育て包括支援センターの移設に伴う、子育て支援センターと児童館機能の整理および業務見直し	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S30	No.		No.	

1. 担当課名	自治振興課					
2. 事業(取組)名称	女性活躍に関するセミナーの推進			事業コード(あれば)	1590	
3. 現状と課題	戦略の視点	女性(25～44歳)の就業率の上昇に向けて、多様な働き方を促進するとともに女性活躍ができる環境づくりを進める。				
	行革の視点	—				
4. 事業(取組)概要	女性が能力や個性を発揮し、活躍できるよう女性活躍に関するセミナーを推進する。					
5. 期待される効果	戦略の視点	女性の雇用促進、ジェンダーギャップの緩和、女性の自立と社会参加				
	行革の視点	—				
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i 子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	2働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1	働きながら安心して子育てができる環境づくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI			女性(25～44歳)の就業率		
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目		
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	女性活躍に関するセミナーの開催	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	女性活躍セミナーの参加者数	計画	30人	32人	34人	36人	40人
	算出方法	セミナーに参加した人数	実績				
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	女性の起業や創業に向けた女性活躍推進セミナーを開催する。 会場参加が難しい方でも参加しやすいよう、ハイブリッド型のセミナーを開催する。 参加者の個別相談を実施予定。質の高い相談となるよう参加人数を限定して実施する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S31	No.		No.	D-29

1. 担当課名	商工観光労政 課		
2. 事業(取組)名称	労働環境の改善支援		事業コード(あれば) 0505
3. 現状と課題	戦略の視点	生産年齢人口の減少が続く中、仕事と生活の両立ができるよう、ワーク・ライフ・バランスを促進する必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	企業訪問等の機会を通じて、企業への啓発を行うとともに、適切な情報提供を行う。		
5. 期待される効果	戦略の視点	労働環境の改善・多様な働き方の実現・女性の就業率の増加	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i 子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	2働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1	働きながら安心して子育てができる環境づくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI		滋賀県ワークライフバランス推進企業登録企業数			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目		
8. DX推進計画との関連性の有無	有					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	企業訪問等における啓発や情報提供	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	デジタル化導入に対する補助金	計画	実施				
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	啓発や情報提供を行った回数	計画	2回	2回	2回	2回	2回
	算出方法 訪問や郵送で啓発や情報提供を行った回数	実績					
		評価					
②	申請件数	計画	25件				
	算出方法 補助金の申請件数	実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①7月からの企業訪問時に、ワーク・ライフ・バランスに関する資料を企業へ手渡すことにより、企業における意識の向上を図る。 ②労働環境の改善については、デジタル化導入に対する中小企業者等物価高騰対策デジタル化促進補助金事業による環境整備等の支援を図る。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S32	No.		No.	

1. 担当課名	商工観光労政 課		
2. 事業(取組)名称	資格取得支援補助金制度の充実		事業コード(あれば) 0513
3. 現状と課題	戦略の視点	労働力が減少している中、多様な人材が復職やキャリア形成をしていくために、再就職や安定就労を促進する必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	資格取得支援補助金制度について情報発信を行うとともに、資格取得支援補助金制度の充実を図る。		
5. 期待される効果	戦略の視点	女性の就業率の増加・雇用機会の拡大・市民の所得向上	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1	働きながら安心して子育てができる環境づくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト			—		
	事業(取組)に関連するKPI			栗東市における女性(22~44歳)の就業率		
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—			項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	資格支援取得補助金制度の実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	資格取得補助金制度の受給者数	計画	10人	12人	12人	15人	15人
	算出方法 資格取得補助金制度の受給者数	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	市広報への掲載や、関係機関等に資格取得支援補助金制度チラシの配架を依頼するなど、積極的な情報発信を行うことで広く制度周知を行い、受給者数を増加させる。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S33	No.		No.	

1. 担当課名	幼児 課		
2. 事業(取組)名称	預かり保育やサービスの充実		事業コード(あれば)
3. 現状と課題	戦略の視点	保護者の多様な就労形態に対応するため、預かり保育の拡充をしていく必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	市内の公立園(幼稚園、幼児園、こども園)において、降園時間後の預かり保育を実施する。また、公立こども園では、夏季休業中の預かり保育を実施する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	親の就労支援に繋がるほか女性が出産・育児後も安心して職場復帰できる環境が整うことで、女性の社会進出が促進される。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1	働きながら安心して子育てができる環境づくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI		女性(25～44歳)の就業率			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	預かり保育の実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	夏季休業期間中の預かり保育の実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	預かり保育の実施	計画	8施設	8施設	8施設	8施設	8施設
	算出方法 預かり保育を実施する施設数	実績					
		評価					
②	夏季休業期間中の預かり保育の実施	計画	3施設	6施設	6施設	6施設	6施設
	算出方法 預かり保育を実施する施設数	実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	治田東幼児園のこども園化に伴い、夏季休業期間中の預かり保育を実施する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画	行革大綱実行計画	DX推進計画
No. S34	No. G-2	No. D-2

1. 担当課名	情報政策課 関係所属:窓口業務がある所属					
2. 事業(取組)名称	書かない窓口の推進			事業コード(あれば)	-	
3. 現状と課題	戦略の視点	行政手続きにおいて、複数の申請書に同じ項目を記載する場合がある。				
	行革の視点	手書きの申請書からの入力事務は時間を要し、確認作業が多岐にわたる。				
4. 事業(取組)概要	窓口事務フローの見直しと書かない窓口システムの導入。					
5. 期待される効果	戦略の視点	多くの申請書への記入作業の省力化。				
	行革の視点	入力時間の短縮。申請書の確認作業の効率化。				
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	1子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	2働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1	働きながら安心して子育てができる環境づくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針	1.効率化・重点化による市民サービスの向上		項目	1(1)スマート窓口の推進	
8. DX推進計画との関連性の有無	有					

9. 年次計画		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	窓口事務フローの見直し	計画	検討	実施	改善	改善	改善
		実績					
		評価					
②	書かない窓口システムの導入	計画	検討	実施	拡充	拡充	拡充
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	- 算出方法	計画					
		実績					
		評価					
②	窓口での書かない率 算出方法 転入に関する手続きのうち、書かない窓口を導入した手続き数	計画		20%	50%	75%	100%
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	ワーキンググループでの窓口事務フローの見直し。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	システムの構築、テスト、スモールスタートでの本番利用。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	書かない窓口に対応する手続きの拡充。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標	書かない窓口に対応する手続きの拡充。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標	書かない窓口に対応する手続きの拡充。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S35	No.	G-3	No.	D-3

1. 担当課名	情報政策課 関係所属:相談業務を行う所属		
2. 事業(取組)名称	オンライン相談の推進	事業コード(あれば)	—
3. 現状と課題	戦略の視点	相談にあたり、市役所に来庁する必要があり、不便である。	
	行革の視点	オンライン相談を実施できる環境が整備できていない。	
4. 事業(取組)概要	相談の数やボリューム、課題等を把握のうえ、優先順位付けを行い、オンライン相談を推進する。 オンライン相談を実施できる環境を構築する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	子育て中の家庭など、市役所への来庁が難しい方でも、オンラインで相談を行うことができ、市民の利便性が向上する。	
	行革の視点	オンライン相談を実施できる環境が整備される事で、より気軽にオンライン相談を利用することができる。	

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	2働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1	働きながら安心して子育てができる環境づくり
	基本目標2	—	基本的方向2	—	施策の方向2	—
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針	1.効率化・重点化による市民サービスの向上		項目	(1)スマート窓口の推進	
8. DX推進計画との関連性の有無	有					

9. 年次計画		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	オンライン相談の拡充	計画	検討	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	オンライン相談環境の整備	計画	検討	実施	拡充	拡充	拡充
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	オンライン相談の取扱業務数	計画	-	5業務	6業務	7業務	8業務
	算出方法 オンライン相談の取扱業務の件数 (累計)	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	各所属で実施している相談業務の棚卸しやオンライン相談環境の整備について、担当者へのヒアリング等を行いながら検討する。	
	取組実績		
	課題 ※9. 年次計画(取組項目)の評価と10. 活動(アウトプット)指標に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	令和7年度に検討したオンライン相談に適する業務のシステム環境を整備する。 また、オンライン相談に適する業務の棚卸しや環境整備の検討を継続して行う。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	オンライン相談に対応できる業務を拡充する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標	オンライン相談に対応できる業務を拡充する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標	オンライン相談に対応できる業務を拡充する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S36	No.	G-4	No.	D-4

1. 担当課名	総合窓口課 情報政策課						
2. 事業(取組)名称	マイナンバーカードの普及促進・利用の推進		事業コード(あれば)	-			
3. 現状と課題	戦略の視点	市民のマイナンバーカードの保有枚数率は8割を超えたものの、今後ますますマイナンバーカードを利用する機会が増加していくことから、市民の利便性向上のためには、引き続き普及促進および利用の推進が必要。					
	行革の視点	マイナンバーカードは、DX推進において基盤となる重要な役割を果たしており、普及および利用の推進を行うことで行政手続きのデジタル化を促進し、職員の負担を軽減させる必要がある。					
4. 事業(取組)概要	マイナンバーカードに対し、不安や不信感を抱いておられる方もおられるため、安全性や利便性について窓口で丁寧に説明するとともに広く周知を行う。窓口での申請サポートや出張申請、休日開庁、延長窓口を行い、今後急増する更新者を含め、円滑に手続きできる体制を整備する。マイナンバーカードを利用した証明書の発行およびオンライン申請を推進していく。						
5. 期待される効果	戦略の視点	マイナンバーカードの普及および利用の推進により、行政手続きのデジタル化が促進され、証明書の発行やオンライン申請など時間を気にせずできるため、多様化するライフスタイルへの対応が可能。					
	行革の視点	マイナンバーカードの普及および利用の推進により、行政手続きのデジタル化が促進され、コンビニ交付率も上昇し、証明書の発行や窓口申請などの対応に係る職員の負担軽減や時間外対応の削減に繋がる。					
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	2働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1 働きながら安心して子育てができる環境づくり		
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト		—				
	事業(取組)に関連するKPI		—				
7. 行革大綱での位置づけ	方針	1.効率化・重点化による市民サービスの向上	項目	(1)スマート窓口の推進			
8. DX推進計画との関連性の有無	有						
9. 年次計画		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	マイナンバーカードの普及促進	計画	実施	継続	継続	継続	継続
		実績					
		評価					
②	コンビニ交付の利用推進	計画	実施	継続	継続	継続	継続
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	マイナンバーカードの保有枚数率 算出方法 人口÷有効保有枚数	計画	83%	84%	85%	86%	87%
		実績					
		評価					
②	コンビニ交付率 算出方法 コンビニで交付可能な証明書全体発行枚数÷コンビニ発行枚数	計画	60%	63%	65%	68%	70%
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	窓口での申請サポートや出張申請、休日開庁、延長窓口を行い、円滑に手続きできる体制を整備するとともに、証明書の発行に際しては庁内設置のコンビニ交付端末の利用を推進し、今後の活用を促していく。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	引き続き窓口での申請サポートや申請機会の増加を目標とし、コンビニ交付率を上げるための方法を検討・実行していく。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S37	No.	G-5	No.	D-5

1. 担当課名	情報政策課 関係所属:公金を取扱う所属			
2. 事業(取組)名称	キャッシュレス決済システムの導入による 収納チャネルの多様化		事業コード(あれば)	—
3. 現状と課題	戦略の 視点	現金のみの取扱いの場合、市民等の公金支払に関して、現金の持ち運びや支払時の負担等が発生し、不便である。		
	行革の 視点	現金管理に係る負担が発生するほか、収納チャネルの乏しさが収納機会の損失につながる恐れがある。		
4. 事業(取組)概要	収納窓口にキャッシュレス決済システムを導入し、公金収納における多様な支払手段を確保する。			
5. 期待される効果	戦略の 視点	日常で使用する決済手段を選択可能となり、市民等の公金支払の利便性が向上する。		
	行革の 視点	現金管理の負担が低減するほか、支払手段の拡充により収納機会が増加する。		

6. 総合戦略での 位置づけ	基本目標1	子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1	働きながら安心して子育てができる環境づくり
	基本目標2	—	基本的方向2	—	施策の方向2	—
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での 位置づけ	方針	1.効率化・重点化による市民サービスの向上		項目	(2)デジタルを活用した市税などの収納チャネルの多様化	
		3.財政健全化に向けた更なる財源確保			(1)デジタルを活用した市税などの収納チャネルの多様化【再掲】	
8. DX推進計画との 関連性の有無	有					

9. 年次計画		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	キャッシュレス決済システムの導入・拡充	計画	導入	拡充	拡充	拡充	拡充
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	キャッシュレス決済の利用割合	計画	5%	20%	40%	55%	70%
	算出方法 キャッシュレス決済利用件数÷公金取扱件数	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	年度内に、主要な公金取扱窓口3か所(会計課・総合窓口課・税務課)にキャッシュレス決済システムを導入し、運用を開始する。	
	取組実績		
	課題 ※9. 年次計画(取組項目)の評価と10. 活動(アウトプット)指標に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	主要窓口3か所における導入効果を検証しながら、取扱う公金の種類や導入窓口の拡充について検討する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	出先施設を中心に、キャッシュレス決済システムを導入する公金取扱窓口を段階的に拡充する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標	キャッシュレス決済システムを導入する公金取扱窓口を段階的に拡充する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標	キャッシュレス決済システムを導入する公金取扱窓口を段階的に拡充する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S38	No.	G-6	No.	D-6

1. 担当課名	情報政策課			
2. 事業(取組)名称	公金収納におけるeLTAXの拡充		事業コード(あれば)	-
3. 現状と課題	戦略の視点	公金を納付するために市役所や金融機関等の窓口に出向く必要がある。		
	行革の視点	公金収納などの対応に係る職員の業務負担を軽減させる必要がある。		
4. 事業(取組)概要	公金収納におけるeLTAXの導入を進める。			
5. 期待される効果	戦略の視点	窓口に行かなくても公金を納付できるため、市民などの利便性が向上する。		
	行革の視点	公金収納などの対応に係る事務処理の効率化および職員の負担軽減に繋がる。		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	1子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	2働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1	働きながら安心して子育てができる環境づくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト			—		
	事業(取組)に関連するKPI			—		
7. 行革大綱での位置づけ	方針	1.効率化・重点化による市民サービスの向上			項目	(2)デジタルを活用した市税などの収納チャンネルの多様化
		3.財政健全化に向けた更なる財源確保				(1)デジタルを活用した市税などの収納チャンネルの多様化【再掲】
8. DX推進計画との関連性の有無	有					

9. 年次計画		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	eLTAXを拡充するための環境整備 (eL-QRの導入)	計画	検討	準備	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	eLTAXを活用して納付できる公金の数 算出方法 eLTAXに対応した納付書を発行で きる公金の種類の数	計画	2件	2件	6件	8件	10件
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	eL-QRを活用した公金収納の活用に向けて、庁内の体制整備、対象公金の選定、システム改修・事務フローの見直しを行い、予算要求を行う。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	eL-QRに対応するためのシステム改修を行い、eLTAXとシステム間で問題なく運用できることを確認するため団体連動試験を行う。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	eL-QRを活用した公金収納を進め、eLTAXの利用を拡充する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S39	No.		No.	

1. 担当課名	自治振興課		
2. 事業(取組)名称	職場や家庭における男女共同参画の推進に向けて啓発し、気運を醸成		事業コード(あれば) 1590
3. 現状と課題	戦略の視点	市民が性別や性の意識にかかわらず誰もが自分らしさを発揮して暮らすために、男女共同参画に対する意識向上が必要である。	
	行革の視点	—	
4. 事業(取組)概要	男女共同参画の推進に関する啓発・情報発信し、気運を醸成する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	市民の幸福度向上やジェンダー平等の推進	
	行革の視点	—	

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	1子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	2働きながら子育てができるまちづくり	施策の方向1	働きながら安心して子育てができる環境づくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI		男性の育休取得率			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目		
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	男女共同参画推進に関する啓発や情報発信	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	情報発信の回数	計画	3回	3回	3回	3回	3回
	算出方法 広報やHPで情報発信した回数	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	アンコンシャス・バイアスなどの男女共同参画社会づくりに関する啓発や情報発信を行う。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S40	No.		No.	

1. 担当課名	教育総務課(学校給食共同調理場) 課				
2. 事業(取組)名称	栗東食材の日の推進			事業コード(あれば)	1728・1729
3. 現状と課題	戦略の視点	給食提供により児童・生徒の心身の健全な発達を促進するとともに、地場産物を活用し、地域の自然、文化、産業、地産地消の理解を深める必要がある。			
	行革の視点				
4. 事業(取組)概要	学校給食において可能な限り地場産物を活用し、食育を推進する。				
5. 期待される効果	戦略の視点	心身の健全な発達および地元への愛着			
	行革の視点				

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i 子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいいきと育つまちづくり	施策の方向1	生きる力を育む教育環境の整備
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI		給食の地場産物の使用割合			
7. 行革大綱での位置づけ	方針				項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	給食における地場産物の使用	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	給食の地場産物の使用割合	計画	30%	30%	30%	30%	30%
	算出方法 地場産物食材数÷全食材数	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	業者を通じて地場産農産物の生産状況を把握し、可能な限り地場産の農産物を使用する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画			
No.	S41	No.		No.			
1. 担当課名	子育て支援 課						
2. 事業(取組)名称	子どもの居場所の数(学童)			事業コード(あれば)	3302		
3. 現状と課題	戦略の視点	子どもの成長や親の就労状況等に応じた全ての子どもに対する、居場所の提供が必要である。					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	学童保育所入所希望者に対して、放課後や長期休暇中に子どもが安全に過ごせる場の確保を行う。						
5. 期待される効果	戦略の視点	利用ニーズに応じた学童保育所の確保を行うことで、市全体で子育てを支えるまちづくりが期待できる。					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいいきと育つまちづくり	施策の方向1	すべての子どもの育ちの支援	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト						
	事業(取組)に関連するKPI		子どもの居場所の数の提供				
7. 行革大綱での位置づけ	方針		項目				
8. DX推進計画との関連性の有無	無						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 長期休暇中の子どもの居場所づくりの検討	計画	調査・研究	調査・研究	検討	検討	検討	
	実績						
	評価						
②	計画						
	実績						
	評価						
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 学童保育所施設数 算出方法 各年4月1日時点の施設数にて積算	計画	22施設	25施設	25施設	25施設	25施設	
	実績						
	評価						
② 算出方法	計画						
	実績						
	評価						

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	・長期休暇中の学童保育所等の設置について、運営事業者や利用者へアンケートを実施	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S42	No.		No.	

1. 担当課名	子育て支援課		
2. 事業(取組)名称	子どもの居場所の数(児童館) 事業コード(あれば) 3351		
3. 現状と課題	戦略の視点 各小学校区に児童館の利用者を増やすことで、子育て世代にとって児童館が子どもが安心して遊べる居場所であるとの認識を広めることが必要である。		
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	子育ての不安を軽減し、子どもが安心して伸び伸びと遊ぶ場を提供することで、子どもの健やかな育ちを支援します。		
5. 期待される効果	戦略の視点 子どもが安心して遊べる環境を提供することで、子ども同士や親子同士が繋がり、居場所となる事で、すべての子どもの育ちの支援が期待できる。		
	行革の視点		
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1 i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1 3子どもがいきいきと育つまちづくり	施策の方向1 全ての子どもの育ちの支援
	基本目標2	基本的方向2	施策の方向2
	該当する重点プロジェクト		
	事業(取組)に関連するKPI 子どもの居場所の数の提供		
7. 行革大綱での位置づけ	方針	項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無		

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	子どもたちに健全な遊びの場や機会を提供(児童館等の機能・役割の強化)	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	児童館施設数	計画	9施設	9施設	9施設	9施設	9施設
	算出方法 各年4月1日時点の施設数にて積算	実績					
		評価					
②	利用率の維持	計画	427.5%	427.5%	427.5%	427.5%	427.5%
	算出方法 子育て(包括)支援センターおよび児童館における利用実績を基に人口推計からの利用率を算出 ※R5の0～17歳利用延べ人数／R5の0～17歳人口×100	実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	児童館利用者のアンケート調査を実施 小中学生向けの事業の充実	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由		
	今後の方向性・ 対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S43	No.		No.	

1. 担当課名	生涯学習課		
2. 事業(取組)名称	子どもの居場所の数		事業コード(あれば)1628
3. 現状と課題	戦略の視点	放課後の子どもの居場所づくりと地域の方との交流が図れるが、スタッフの減少及び高齢化が課題である。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	各小学校区単位で小学校の体育館などを活用して、放課後の居場所を設け、地域のスタッフの協力の基に、スポーツや体験・文化活動、子どもと地域住民との交流などを行う。		
5. 期待される効果	戦略の視点	放課後の子どもの居場所づくりと地域の方との交流。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいきいきと育つまちづくり	施策の方向1	すべての子どもの育ちの支援
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		2.子ども・子育て支援プロジェクト			
	事業(取組)に関連するKPI		子どもの居場所の数			
7. 行革大綱での位置づけ	方針				項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	放課後子ども教室	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	実施する小学校区数 算出方法	計画	8校区	9校区	9校区	9校区	9校区
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	現8小学校区で実施	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由		
	今後の方向性・ 対応策	拡大	
令和8年度	年度目標	9小学校区で実施	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策	継続	
令和9年度	年度目標	9小学校区で実施	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策	継続	
令和10年度	年度目標	9小学校区で実施	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策	継続	
令和11年度	年度目標	9小学校区で実施	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策	継続	

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S44	No.		No.	

1. 担当課名	障がい福祉課		
2. 事業(取組)名称	子どもの居場所の数(放課後等デイサービス、日中一時支援)	事業コード(あれば)	
3. 現状と課題	戦略の視点	支援を必要とする障がいのある子どもに対して個々の状況に応じた発達支援を行うこと、また、保護者が障がいのある子どもを育てることに対して、社会的な支援が必要である。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	障がいのある児童などに対し、放課後や長期休業中等に規則正しい生活習慣を維持できるよう、療育活動や創作活動を行う場所の確保、また家族の介護負担軽減のための一時預かりを実施します。		
5. 期待される効果	戦略の視点	放課後や長期休暇中に子どもが安全に過ごせる場所を確保することで、子どもの育ちを支えるまちづくりが期待できる。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i 子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいきいきと育つまちづくり	施策の方向1	すべての子どもの育ちの支援
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI		子どもの居場所の数の提供			
7. 行革大綱での位置づけ	方針				項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	障がいのある児童の居場所の充実	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	放課後等デイサービスの事業所数	計画	14事業所	15事業所	16事業所	17事業所	19事業所
	算出方法 各年4月1日時点の放課後等デイサービスの事業所数	実績					
		評価					
②	日中一時支援事業所の数	計画	51事業所	51事業所	51事業所	51事業所	51事業所
	算出方法 各年4月1日時点の日中一時支援事業所の事業所数	実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	第4期障がい児福祉計画策定にあたり、障がい児のサービス利用者等へのアンケート調査を行う。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S45	No.		No.	

1. 担当課名	子育て支援課		
2. 事業(取組)名称	ファミリー・サポート・センター事業		事業コード(あれば)3376
3. 現状と課題	戦略の視点	特に若い子育て世帯において、子どもの成長にあわせ子育て環境の面を重視し、転出するケースが多い。子育て環境の充実を実現するため、地域全体で子どもの健やかな成長を支える環境づくりが必要である。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	子育ての援助を受けたい者と当該援助を行いたい地域の者とが会員登録し、育児における相互援助活動に関する連絡・調整を行う。		
5. 期待される効果	戦略の視点	多様化する就労形態や家族形態に合わせて支援を行うことで、子育て世帯の転出抑制や出生数の維持が期待できる。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいきいきと育つまちづくり	施策の方向1	すべての子どもの育ちの支援
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針				項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	事業と会員確保に向けた周知	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	延利用者数	計画	206人	403人	591人	773人	950人
	算出方法	各年3月31日時点の延利用者数にて算定	実績				
		評価					
②	会員登録者数	計画	147人	288人	422人	552人	679人
	算出方法	各年3月31日時点の会員登録者数にて算定	実績				
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	令和7年度の会員登録者数を確保するため、広報やホームページを活用し、周知を図る。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S46	No.		No.	

1. 担当課名	発達支援課		
2. 事業(取組)名称	子どもに応じた関わり方を提案する発達相談の実施	事業コード(あれば)	0360
3. 現状と課題	戦略の視点	発達の遅れや発達障がいをもつ子どもの子育てに不安を抱えている保護者がいる。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	発達検査や発達相談、子どもへの好ましい関わり方を学ぶ連続講座等を通して、子どもの発達段階をとらえ、子どもの成長を支える関わり方を助言する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	保護者の子育てへの不安を軽減することができる。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	i 子育てしやすいまちをつくる	基本的方向1	3子どもがいきいきと育つまちづくり	施策の方向1	すべての子どもの育ちの支援
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	発達相談の実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	ペアレント・トレーニングの実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	発達相談・発達検査の実施件数(就学前・小中学校・高等学校の児童生徒および保護者) 算出方法 発達相談・発達検査の実施件数	計画	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件
		実績					
		評価					
②	ペアレント・トレーニングの参加人数 算出方法 プログラムへ参加した年間の参加人数	計画	10人	10人	10人	10人	10人
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	子育てへの不安に早期に対応できるよう、関係機関との連携を図り、迅速に発達相談を進める。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S47	No.		No.	

1. 担当課名	住宅 課						
2. 事業(取組)名称	木造住宅の無料耐震診断・耐震改修工事への補助の実施	事業コード(あれば) 841					
3. 現状と課題	戦略の視点	安全な住環境・住宅ストックを確保する必要がある。					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	木造住宅の無料耐震診断、耐震改修工事への補助金の交付を実施する。						
5. 期待される効果	戦略の視点	地震による被災を抑制することにより住環境の向上。 安全な住宅ストックの確保。					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト		—				
	事業(取組)に関連するKPI						
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—	項目	—			
8. DX推進計画との関連性の有無	無						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	木造住宅の無料耐震診断・耐震改修工事への補助の実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	住宅耐震化率 算出方法 総務省「住宅・土地統計調査」(5年ごと)をベースにした滋賀県による推計値	計画	95%	-	-	-	97%
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	木造住宅の無料耐震診断、耐震改修工事への補助金の交付を実施する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S48	No.		No.	

1. 担当課名	住宅課		
2. 事業(取組)名称	開発時の指導等による緑地面積の確保		事業コード(あれば)841
3. 現状と課題	戦略の視点	風格のあるまちづくりを実現していく上で、緑が担う役割が重要である。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	開発時の指導等により緑地面積を確保を図る。		
5. 期待される効果	戦略の視点	緑地の充実	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	開発時の指導等により緑地面積を確保	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	緑地完了検査の実施率 算出方法	計画	100%	100%	100%	100%	100%
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	開発時の指導等により緑地面積を確保する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S49	No.		No.	

1. 担当課名	道路・河川		課		
2. 事業(取組)名称	都市計画道路の整備			事業コード(あれば)	0817・0843
3. 現状と課題	戦略の視点	国道1号8号等の幹線道路や補助幹線道路において交通混雑が発生している。			
	行革の視点				
4. 事業(取組)概要	都市計画道路等の整備				
5. 期待される効果	戦略の視点	都市計画道等の幹線道路の整備により交通分散が図られ交通混雑の緩和が期待。歩行者の安全確保。			
	行革の視点				

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針				項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	都市計画道路等の整備	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	出庭林線の整備(km) 算出方法 供用延長	計画		0.4km			
		実績					
		評価					
②	大門野尻線の整備(km) 算出方法 供用延長	計画	0.5km	0.3km			
		実績					
		評価					
③	小柿苅原線の整備(km) 算出方法 供用延長	計画			0.1km		
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	都市計画道路等の整備を推進	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	都市計画道路等の整備を推進	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	都市計画道路等の整備を推進	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S50	No.		No.	

1. 担当課名	環境政策課		
2. 事業(取組)名称	生ごみ減量化の推進(家庭用生ごみ処理機設置補助)		事業コード(あれば)432
3. 現状と課題	戦略の視点	生ごみ減量化の推進のため、家庭用生ごみ処理機購入に対する補助を充実させることで、各家庭での処理機導入と生ごみ減量化をはかる。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	栗東市の家庭から出る生ごみをたい肥化するコンポスト・機械式生ごみ処理容器設置者(世帯)に対し、補助金を交付。(購入金額の2分の1、限度額あり)		
5. 期待される効果	戦略の視点	各家庭からの生ごみの排出が減少する。処理費用などの経費が減少する。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針				項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	生ごみ減量化の推進(家庭用生ごみ処理機設置補助)	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	家庭用生ごみ処理機設置補助の補助件数	計画	30件	35件	40件	45件	50件
	算出方法	実績ベース					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	市広報誌や自治会回覧などで情報発信し、補助件数を増加させる。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S51	No.		No.	

1. 担当課名	環境政策課			
2. 事業(取組)名称	脱炭素社会の実現を目指した取組の普及(住宅用太陽光発電システム等設置補助)(省エネ家電購入補助)		事業コード(あれば)	452
3. 現状と課題	戦略の視点	カーボンニュートラルを目指した取組みを実施しようとする世帯の定住促進を図る必要がある。		
	行革の視点			
4. 事業(取組)概要	住宅用太陽光発電システム等設置および省エネ家電購入をする市民に対し、費用の一部を補助する			
5. 期待される効果	戦略の視点	再生可能エネルギーの導入補助、省エネ家電購入補助による定住促進		
	行革の視点			

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト			—		
	事業(取組)に関連するKPI			市内購買率		
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—			項目	—
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	太陽光発電システム等設置補助	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	省エネ家電購入補助	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	補助件数	計画	10件	10件	10件	10件	10件
	算出方法	太陽光発電システム設置補助件数 蓄電池設置補助件数	実績				
		評価					
②	補助件数	計画	90件	90件	90件	90件	90件
	算出方法	省エネ家電(エアコン、冷蔵庫、冷凍庫)の購入補助件数	実績				
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①太陽光発電システム、蓄電池の設置補助事業を実施 ②省エネ家電購入補助事業を実施	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由		
	今後の方向性・ 対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S52	No.	G-7	No.	D-7

1. 担当課名	情報政策課 関係所属:地理情報を取扱う所属						
2. 事業(取組)名称	公開型GISの導入			事業コード(あれば)			
3. 現状と課題	戦略の視点	地域の地理情報や公共施設・避難所の位置等の情報を市役所窓口に行かなければ得ることができず、不便である。					
	行革の視点	地理情報を得るために来庁した市民等に対応する職員の業務負担を軽減する必要がある。					
4. 事業(取組)概要	公開型GISを導入することで、市の保有する地理情報について、広く民間に提供する。						
5. 期待される効果	戦略の視点	地理情報の取得に係る来庁の負担が削減され、市民等の利便性が向上する。					
	行革の視点	来庁者への対応の負担軽減につながるほか、非常時等に情報をリアルタイムに共有することができる。					
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進	
	基本目標2	—	基本的方向2	—	施策の方向2	—	
	該当する重点プロジェクト		—				
	事業(取組)に関連するKPI		—				
7. 行革大綱での位置づけ	方針	1.効率化・重点化による市民サービスの向上	項目	(3)行政データの公開と活用の推進			
8. DX推進計画との関連性の有無	有						
9. 年次計画		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	公開型GISシステムの導入・運用	計画	検討	実施	拡充	拡充	拡充
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	公開型GISシステムへのアクセス数 算出方法 公開型GISシステムへのアクセス数	計画	—	300件	1700件	1900件	2100件
		実績					
		評価					
②	公開する地理情報数 算出方法 GISシステムに搭載する公開情報の累計数	計画	—	10件	15件	20件	25件
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	公開型GISの導入に向けた庁内ワーキンググループを設置し、公開する情報の精査や、システムに求める機能等を整理し、仕様を定める。	
	取組実績		
	課題 ※9. 年次計画(取組項目)の評価と10. 活動(アウトプット)指標に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	公開型GISの導入のため、業者選定を実施する。都市計画情報等の利用者ニーズの高い情報を中心に、公開する情報の登録を行ったうえで、年度内に運用を開始する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	導入の効果を検証しながら、運用の改善を進める。 利用者ニーズの高い情報や公共性の高い情報を中心に、公開する情報を段階的に拡充する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標	導入の効果を検証しながら、運用の改善を進める。 利用者ニーズの高い情報や公共性の高い情報を中心に、公開する情報を段階的に拡充する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標	導入の効果を検証しながら、運用の改善を進める。 利用者ニーズの高い情報や公共性の高い情報を中心に、公開する情報を段階的に拡充する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S53	No.		No.	D-28

1. 担当課名	自治振興課		
2. 事業(取組)名称	Wi-Fi環境の整備		事業コード(あれば)0293
3. 現状と課題	戦略の視点	地域におけるWi-Fi環境を向上させることで、市民の利便性向上に努めていく必要がある。	
	行革の視点	—	
4. 事業(取組)概要	市内各コミュニティセンターに利用者が自由に使用できるWi-Fiを整備することでコミュニティセンターの利便性向上による住みよいまちを目指す		
5. 期待される効果	戦略の視点	コミュニティセンターの利便性向上、コミュニティセンターを拠点とした地域のデジタル化の推進	
	行革の視点	—	

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	1多様な暮らし方を支えるサティスナブルなまちづくり	施策の方向1	良好な住環境の整備促進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—			項目	—
8. DX推進計画との関連性の有無	有					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	市内各コミュニティセンターへの市民が利用できるWi-Fiの整備	計画	調査	準備	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	Wi-Fi整備が完了したコミュニティセンター(センター数)	計画	0	9施設	9施設	9施設	9施設
	算出方法	Wi-Fi整備の完了したコミュニティセンター	実績				
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	市内各コミュニティセンターにコミセン利用者が使用しやすいWi-Fiについて、設置予定設備の確認や管理運営団体との調整を行う。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S54	No.		No.	

1. 担当課名	長寿福祉課		
2. 事業(取組)名称	いきいき百歳体操の普及啓発		事業コード(あれば)0356
3. 現状と課題	戦略の視点	体操をきっかけとした地域住民同士のつながりとセルフケアによる健康づくりを推進する必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	週に1回、身近な会館等で地域住民が主体となって健康づくりが行えるよう立ち上げ支援、継続支援を行う。		
5. 期待される効果	戦略の視点	健康寿命の延伸および住民同士のつながりが深まることによる見守り、支え合い	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	2誰もがいきいきと活躍できるまちづくり	施策の方向1	誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI		健康寿命の延伸			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	いきいき百歳体操の周知、継続団体への支援	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	いきいき百歳体操を実施する団体の数 算出方法	計画	76団体	77団体	77団体	78団体	78団体
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	出前トークのメニューにいきいき百歳体操を含め普及	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画			
No.	S55	No.		No.			
1. 担当課名	保険年金 課						
2. 事業(取組)名称	データヘルス計画に基づく保健事業の推進			事業コード(あれば)	1956・1958		
3. 現状と課題	戦略の視点	今までの経緯とともに、アフターコロナにおける様々な社会情勢や健康を取り巻く環境変化を見据えた、保健事業の推進が必要					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	国民健康保険加入者に対する特定健康診査、特定保健指導、受診率・実施率向上対策、糖尿病性腎症重症化予防事業、重複・頻回受診者等訪問指導事業、節目歯科健診などの実施						
5. 期待される効果	戦略の視点	国民健康保険加入者の健康の保持増進、生活の質の維持および向上、医療費の適正化					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	2誰もがいきいきと活躍できるまちづくり	施策の方向1	誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト						
	事業(取組)に関連するKPI		特定健診受診率(国保特定健診)				
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—		
8. DX推進計画との関連性の有無	無						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 特定健診、特定健診受診率向上対策	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
	実績						
	評価						
②	計画						
	実績						
	評価						
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 特定健診受診率 算出方法 法定報告値	計画	48.7%	51.6%	54.5%	57.4%	60.0%	
	実績						
	評価						
② 算出方法	計画						
	実績						
	評価						

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	未受診者に対する受診勧奨通知について、引き続き対象者の心理特性に応じた勧奨素材を活用するとともに、若年層向けの勧奨通知や対象者の昨年度の特定健診受診医療機関を明示するなど、工夫を凝らした受診勧奨を実施する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S56	No.		No.	

1. 担当課名	健康増進 課	
2. 事業(取組)名称	予防歯科の推進	事業コード(あれば) 427
3. 現状と課題	戦略の視点	誰もが健康でいきいきと活躍できるために、予防医療の推進など、健康長寿に向けた取り組みが必要である。
	行革の視点	
4. 事業(取組)概要	自宅などで実施する「セルフケア」と、歯科医院などでの「プロフェッショナルケア」を併せて実施することの必要性や具体的な方法の情報発信や啓発を実施する。	
5. 期待される効果	戦略の視点	適切なセルフケアの継続実施や定期的な歯科健診の受診により、むし歯や歯周疾患の予防や早期対応により歯と口腔の健康を維持する人が増える。
	行革の視点	

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	2誰もがいきいきと活躍できるまちづくり	施策の方向1	誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI		12歳児(中1)のむし歯のない人の割合			
7. 行革大綱での位置づけ	方針				項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	フッ化物を活用した歯みがき方法の情報発信(健康教育)	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	健康教育の実施回数(校)	計画	1校	3校	9校	9校	9校
	算出方法	小学校単位での実施の有無の確認	実績				
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①フッ化物を活用した歯みがき方法の情報発信を行う	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S57	No.		No.	

1. 担当課名	スポーツ・文化振興 課		
2. 事業(取組)名称	社会体育施設の貸館業務、各種事業の実施		事業コード(あれば) 1703,1706,1711
3. 現状と課題	戦略の視点	新型コロナ流行の影響を受け、減少した利用者数がコロナ禍前の状態まで回復しておらず、市民等の運動習慣が鈍る恐れがある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	市スポーツ協会を通じた貸館業務及び利用者アンケートでのニーズ把握、各種事業の実施		
5. 期待される効果	戦略の視点	スポーツを通じた市民の健康づくり、交流・連携機会の創出	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	2誰もがいきいきと活躍できるまちづくり	施策の方向1	誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進
	基本目標2	—	基本的方向2	—	施策の方向2	—
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI		社会体育施設年間利用者数			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
①	社会体育施設の貸館業務、各種事業の実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
		実績						
		評価						
②	利用者アンケートの実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施	
		実績						
		評価						
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
①	利用者アンケートの満足度(%)	計画	81%	81.5%	82%	82.5%	83%	
	算出方法	事業終了後に利用者アンケートを実施(内容の満足度において27事業の平均値)	実績					
		評価						
②	算出方法	計画						
		実績						
		評価						

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	・施設のオンライン予約による利用者の利便性向上と利用促進を図る。 ・ニーズに応じた事業を展開することで、利用者の満足度向上を図る。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由		
	今後の方向性・ 対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S58	No.		No.	

1. 担当課名	スポーツ・文化振興 課		
2. 事業(取組)名称	社会体育施設の修繕・改修		事業コード(あれば) 1734
3. 現状と課題	戦略の視点	建設から40年を経過する施設もあり、安心、安全に利用できる施設の改修や整備をする必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	老朽化した社会体育施設の修繕・改修		
5. 期待される効果	戦略の視点	老朽化する社会体育施設を計画的な維持保全・改修を行うことで、誰もが安心してスポーツに取り組むための場の確保・充実が図れる。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	2誰もがいきいきと活躍できるまちづくり	施策の方向1	誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進
	基本目標2	—	基本的方向2	—	施策の方向2	—
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI		社会体育施設年間利用者数			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	社会体育施設の修繕・改修	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	修繕・改修する施設数	計画	2施設	2施設	2施設	2施設	2施設
	算出方法	施設の設備(備品)やLED化も含む	実績				
		評価					
②	利用者アンケートの満足度(%)	計画	61%	62%	63%	64%	65%
	算出方法	各施設の予約時または利用時にアンケートを実施(市民体育館・野洲川体育館・治田西スポーツセンター・十里体育館5施設の平均値)	実績				
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	市民が安心、安全に運動・スポーツを楽しめるよう、老朽化した施設や器具の修繕を計画的に行う。令和7年度は栗東市民体育館(エントランス、ブラインド)、栗東運動公園テニスコートの修繕を行う。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S59	No.		No.	

1. 担当課名	社会福祉 課						
2. 事業(取組)名称	地域福祉活動や地域づくり、まちづくりへの支援			事業コード(あれば)			
3. 現状と課題	戦略の視点	支援を必要とする人の把握が困難であることから、コミュニティソーシャルワーカーの資質向上と各関係機関との良好な関係性を維持し、地域福祉活動に取り組む必要がある					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	地域福祉活動や地域づくり、まちづくりへの参画の仕組みづくり(コミュニティソーシャルワーカーの配置支援)						
5. 期待される効果	戦略の視点	住民主体の地域活動のサポートや支援者と支援を必要とする人との結びつきを通じて、必要な人に必要な支援が届く体制づくりとなる。					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	2誰もがいきいきと活躍できるまちづくり	施策の方向1	誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト						
	事業(取組)に関連するKPI						
7. 行革大綱での位置づけ	方針		項目				
8. DX推進計画との関連性の有無	無						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	断らない相談支援体制の構築とアウトリーチ	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	参加支援の充実	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	CSWの配置人数 算出方法 市内中学校区に1人の配置。	計画	3人	3人	3人	3人	3人
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	相談支援の分析、課題を抽出し、複雑化・複合化した課題や制度の狭間にある人へ迅速に対応するため相談支援体制を充実させる。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S60	No.	G-16	No.	D-16

1. 担当課名	情報政策課 関係所属:生涯学習課						
2. 事業(取組)名称	情報弱者への配慮(デジタルデバйд対策)		事業コード(あれば)				
3. 現状と課題	戦略の視点	インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる方と利用できない方との間に格差がある。					
	行革の視点	DXの推進による業務の効率化を図る中で、デジタルに不慣れな方が取り残される懸念がある。					
4. 事業(取組)概要	国のデジタル活用支援推進事業などを活用し、市民利用施設等において、スマホ教室などの講座を実施する。						
5. 期待される効果	戦略の視点	情報機器の知識・利用能力を高めることにより、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを推進する。					
	行革の視点	DXの推進による業務の効率化によって生み出された時間を、デジタルに不慣れな方に対し、アナログによる、きめ細かい対応を実施する。					
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	Ⅱ住みよいまちをつくる	基本的方向1	2誰もがいきいきと活躍できるまちづくり	施策の方向1	誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト						
	事業(取組)に関連するKPI		スマホ教室等の講座の開催回数				
7. 行革大綱での位置づけ	方針	1.効率化・重点化による市民サービスの向上	項目	(7)情報弱者への配慮(デジタルデバйд対策)			
8. DX推進計画との関連性の有無	有						
9. 年次計画		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	スマホ教室等の講座の開催	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	デジタルに不慣れな方へのきめ細かいアナログ対応(DX推進で得られた時間をさらに活用する)	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	スマホ教室等の講座の開催回数 算出方法 コミュニティセンター及び老人福祉センター等の市施設各1回	計画	15回	15回	15回	15回	15回
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	スマホ教室等の講座を開催する。	
	取組実績		
	課題 ※年次目標評価と数値目標評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	スマホ教室等の講座を開催する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S61	No.		No.	

1. 担当課名	自治振興課		
2. 事業（取組）名称	ワーク・ライフ・バランスについて啓発し、理解を促進	事業コード（あれば）	1590
3. 現状と課題	戦略の視点	市民の生活の質の向上、安心して働ける環境づくりのために、ワーク・ライフ・バランスの推進について市民や事業所の理解を深める必要がある。	
	行革の視点	—	
4. 事業（取組）概要	ワーク・ライフ・バランスに対する理解を深めるため、啓発や情報発信を図る。		
5. 期待される効果	戦略の視点	生活の質が向上し、長期的な幸福感が高まる。 企業における生産性の向上、従業員の満足度向上。	
	行革の視点	—	

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iii安心して働けるまちをつくる	基本的方向1	1産業振興と雇用拡大	施策の方向1	まちに活力をもたらす産業の創出
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI			ワークライフバランス登録企業数		
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—			項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	仕事と生活の調和推進月間に合わせて、 啓発や情報発信	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	情報発信の回数 算出方法 HPやSNSで情報発信した回数	計画	2回	2回	2回	2回	2回
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	仕事と生活の調和推進月間に合わせて、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発や情報発信を行う。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S62	No.		No.	

1. 担当課名	商工観光労政 課		
2. 事業(取組)名称	先端設備の導入支援		事業コード(あれば) 0713
3. 現状と課題	戦略の視点	速いスピードで変化する事業環境に対応できる企業力の強化を図る必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	先端設備投資への支援		
5. 期待される効果	戦略の視点	新事業・新分野に挑戦する企業の増加。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iii 安心して働けるまちをつくる	基本的方向1	1産業振興と雇用拡大	施策の方向1	中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と市内商業の活性化
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI			先端設備等導入計画の認定件数		
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—			項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	先端設備等導入計画の認定	計画	実施	実施			
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	認定件数	計画	18件	18件			
	算出方法 先端設備等導入計画の認定件数	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	先端設備等導入計画を作成した中小企業者に対して市が認定することによって、新規取得する償却資産に係る固定資産税の引き下げ等の支援を行い、中小企業者の労働生産性の向上を図る。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S63	No.		No.	

1. 担当課名	商工観光労政 課		
2. 事業(取組)名称	相談事業	事業コード(あれば)	0706
3. 現状と課題	戦略の視点	事業経営や国・県・市の制度等の情報が入りにくく、内容や手続きが複雑である。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	相談会を実施し、様々な課題の相談に応じる。		
5. 期待される効果	戦略の視点	各種補助や融資の制度等について相談でき、スムーズな手続きが可能となる。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iii 安心して働けるまちをつくる	基本的方向1	1産業振興と雇用拡大	施策の方向1	中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と市内商業の活性化
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI		創業者数(延べ)		就業者数	
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目		
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	「りっとう経営なんでも相談会」の実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	相談件数	計画	24件	24件	24件	24件	24件
	算出方法	「りっとう経営なんでも相談会」の相談件数	実績				
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	「りっとう経営なんでも相談会」を実施し、事業計画や経営改善、人事・労務など様々な分野に対しての相談に応じ、課題の発見や解決策の提案を行う。また、関係機関や各種専門家とも連携して支援する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S64	No.		No.	

1. 担当課名	商工観光労政 課		
2. 事業(取組)名称	空き店舗の活用促進		事業コード(あれば) 0707
3. 現状と課題	戦略の視点	空き店舗対策については中心市街地のみならず、さらに対象区域を広げてにぎわい創出を図る必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	空き店舗等活用促進事業補助金制度の実施		
5. 期待される効果	戦略の視点	空き店舗等活用促進事業補助金制度を実施し、空き店舗の減少、商環境の向上につなげる。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iii安心して働けるまちをつくる	基本的方向1	1産業振興と雇用拡大	施策の方向1	中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と市内商業の活性化
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI		創業者数(延べ)		就業者数	
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目		
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	空き店舗等活用促進事業補助金制度の実施	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	補助件数	計画	5件	6件	6件	6件	6件
	算出方法	空き店舗等活用促進事業補助金制度の補助件数	実績				
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	空き店舗等活用促進事業補助金制度について、対象区域を従来の中心市街地に商業地域、近隣商業地域を新たに加えて拡充し、より多くの新規出店者と空き店舗等の所有者に対して必要経費の一部を補助することによって支援し、さらなるにぎわい創出を図る。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S65	No.		No.	D-31

1. 担当課名	商工観光労政 課		
2. 事業(取組)名称	市内事業者のデジタル人材育成の支援		事業コード(あれば) ー
3. 現状と課題	戦略の視点	生産性向上や省力化を図るため、デジタル技術をもつ人材を育成する必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	商工会をはじめ、関係機関が行う各種セミナーや研修会の周知		
5. 期待される効果	戦略の視点	各種セミナーや研修会の開催を周知し、デジタル人材の育成、スキルアップを図る。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iii安心して働けるまちをつくる	基本的方向1	1産業振興と雇用拡大	施策の方向1	中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と市内商業の活性化
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI		就業者数			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—			項目	
8. DX推進計画との関連性の有無	有					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	関係機関が行う各種セミナーや研修会の周知	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	算出方法	計画					
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	デジタル化導入に対する中小企業者等物価高騰対策デジタル化促進補助金事業による支援に加え、関係機関が行うデジタル化やDX推進のための各種セミナーや相談窓口等を周知し、デジタル人材育成を図る。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S66	No.		No.	

1. 担当課名	農林 課	
2. 事業(取組)名称	市認定ブランドの創出	事業コード(あれば) —
3. 現状と課題	戦略の視点	栗東産農産物の浸透・発展を図るために市が栗東産農産物のブランド認証を推進していく必要がある。
	行革の視点	
4. 事業(取組)概要	農業者の団体や個人から栗東産農産物の認証申請がされるようにJAと連携して取り組み、農産物をブランド認証していく。	
5. 期待される効果	戦略の視点	ブランド認証された栗東産農産物が情報発信・PRされることによる認知度の向上、販路の拡大
	行革の視点	

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iii 安心して働けるまちをつくる	基本的方向1	2 持続可能な農業経営の確立	施策の方向1	農林業の振興支援による活性化の推進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI		農地集積率			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	JAと連携し農業者へ認証申請の勧奨	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	農産物のブランド認証	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	ブランド認証件数	計画	1件	2件	2件	3件	3件
	算出方法	農産物をブランド認証した件数 (累計)	実績				
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①JAと連携して農業者へ認証申請の勧奨を行う。 ②申請された農産物をうますぎる栗東農産物特産物品認証基準に基づき審査のうえブランド認証する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S67	No.		No.	

1. 担当課名	農林 課	
2. 事業(取組)名称	担い手確保・育成	事業コード(あれば) —
3. 現状と課題	戦略の視点	農業従事者の高齢化や後継者不足による担い手の減少に対して担い手を確保し、育成する必要がある。
	行革の視点	
4. 事業(取組)概要	新規就農を希望する人に農産物の生産に必要な知識や技術を学べる場をJAや県等と連携して提供し、就農相談を実施する。	
5. 期待される効果	戦略の視点	農地の荒廃や農業生産基盤の脆弱化の防止
	行革の視点	

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iii安心して働けるまちをつくる	基本的方向1	2持続可能な農業経営の確立	施策の方向1	農林業の振興支援による活性化の推進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト			—		
	事業(取組)に関連するKPI			農地集積率		認定新規就農者数(認定農業者数)
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—			項目	—
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	チャレンジ農業塾の開催・就農相談	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	チャレンジ農業塾への参加者数	計画	2人	2人	3人	3人	4人
	算出方法	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①JAや県等と合同でチャレンジ農業塾を開催する。 ②参加者には受講後、就農相談を実施する。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S68	No.		No.	D-32

1. 担当課名	シティプロモーション推進 課						
2. 事業(取組)名称	SNSを活用した市のPR、有益な情報・魅力ある情報の発信		事業コード(あれば)	-----			
3. 現状と課題	戦略の視点	選ばれるまちとなるためには、シティプロモーション活動(「住み続けたい」「住んでみたい」と思えるような魅力発信、情報発信)が必須である					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	情報拡散が期待できるSNS等を活用した市のPRを行うことで、市の情報に触れる機会を増やし、市の認知度アップに繋げる						
5. 期待される効果	戦略の視点	市民の市への関心度の向上と愛着や誇りの醸成、交流人口の創出					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iv選ばれるまちをつくる	基本的方向1	1関係人口の拡大とシビックプライドの養成	施策の方向1	多くの人が関わるまちづくり	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト		—				
	事業(取組)に関連するKPI		SNS(市公式アカウント)フォロー数		市HPアクセス数		
7. 行革大綱での位置づけ	方針		項目				
8. DX推進計画との関連性の有無	有						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	新たな情報発信ツールの導入と検討	計画	実施	検討	検討	検討	検討
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	新規SNSの運用開始 算出方法	計画	1	-	-	-	-
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	・公式Instagramの開設 ・市ホームページの見やすさや情報の見つけやすさを意識したページ作り ・市ホームページリニューアルに向けた準備	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目) と10.活動(アウトプット) 指標の評価に乖離がある 場合、その理由		
	今後の方向性・ 対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・ 対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S69	No.	G-9	No.	D-9

1. 担当課名	情報政策 課		
2. 事業(取組)名称	オープンデータの整備		事業コード(あれば) ー
3. 現状と課題	戦略の視点	国が推奨する最低限のデータのみの整備となっており、市民や企業などの利用が限定的になっている。	
4. 事業(取組)概要	市の保有するデータを機械判読に適した形式に整備し、公開する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	行政の透明性向上のほか、市民や企業などが利用することで市民参画の促進、民間ビジネス創造への活用に資する	

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iv選ばれるまちをつくる	基本的方向1	1関係人口の拡大とシビックプライドの養成	施策の方向1	多くの人が関わるまちづくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト					
	事業(取組)に関連するKPI		市HPアクセス数			
8. DX推進計画との関連性の有無	有					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	オープンデータの拡充	計画	実施	拡充	拡充	拡充	拡充
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	オープンデータ公開数	計画	8件	10件	12件	14件	17件
	算出方法	公開するオープンデータの総数	実績				
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	オープンデータ化するデータの優先度を整理し、順次、公開可能な形式への整理を進める。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	オープンデータ化するデータの優先度の整理を引き続き行い、公開データ数を拡充する。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S70	No.		No.	

1. 担当課名	歴史民俗博物館			
2. 事業(取組)名称	出前講座への講師派遣		事業コード(あれば)	
3. 現状と課題	戦略の視点	人口の社会減が続く中、市への定住を推進するためには、市民のシビックプライドを高める取り組みが必要。		
	行革の視点			
4. 事業(取組)概要	他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業に講師を派遣する。			
5. 期待される効果	戦略の視点	市の豊かな歴史や文化の魅力発信・市に愛着や誇りを持つ市民の増加		
	行革の視点			

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iv選ばれるまちをつくる	基本的方向1	1関係人口の拡大とシビックプライドの養成	施策の方向1	多くの人が関わるまちづくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—			項目	—
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業(出前講座)への講師派遣	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	出前講座への出講回数(回)	計画	12回	12回	12回	12回	12回
	算出方法 出前講座に講師を派遣した回数	実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への講師派遣を行う。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への講師派遣を行う。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への講師派遣を行う。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標	他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への講師派遣を行う。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標	他課、自治会、コミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への講師派遣を行う。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S71	No.		No.	

1. 担当課名	歴史民俗博物館		
2. 事業(取組)名称	博物館教室「昔のくらし」の開催		事業コード(あれば)
3. 現状と課題	戦略の視点	選ばれるまちづくりを推進し、「子育て世代の地元定着」を図るためには、児童の学びの機会を充実することが必要。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	小学校3年生の社会科学習「市の様子の移り変わり」に対応する、移築民家旧中島家住宅(登録有形文化財)を活用した体験学習プログラム。		
5. 期待される効果	戦略の視点	児童の学びの機会の充実・市の豊かな歴史や文化の魅力発信・市に愛着や誇りを持つ市民の増加・交流人口の拡大	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iv選ばれるまちをつくる	基本的方向1	1関係人口の拡大とシビックプライドの養成	施策の方向1	多くの人が関わるまちづくり
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—			項目	—
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	博物館教室「昔のくらし」の開催	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	博物館教室「昔のくらし」の開催	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	受講した市立小学校の数(校)	計画	9校	9校	9校	9校	9校
	算出方法 博物館教室「昔のくらし」受講校のうち、市立小学校の数	実績					
		評価					
②	受講した市立校以外の小学校の数(校)	計画	13校	13校	13校	13校	13校
	算出方法 博物館教室「昔のくらし」受講校のうち、市立校以外の小学校の数	実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①市立小学校9校の確実な受講を促す。 ②県立校・近隣市町への受講案内の実施。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	①市立小学校9校の確実な受講を促す。 ②県立校・近隣市町への受講案内の実施。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	①市立小学校9校の確実な受講を促す。 ②県立校・近隣市町への受講案内の実施。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標	①市立小学校9校の確実な受講を促す。 ②県立校・近隣市町への受講案内の実施。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標	①市立小学校9校の確実な受講を促す。 ②県立校・近隣市町への受講案内の実施。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S72	No.		No.	

1. 担当課名	商工観光労政 課						
2. 事業(取組)名称	栗東の魅力を活かした付加価値の高いコンテンツの提供			事業コード(あれば)			
3. 現状と課題	戦略の視点	栗東市は豊かな自然環境や歴史文化資産が数多く存在するとともに、競走馬の調教施設があることによって「馬のまち」としても知られている。多様化する観光客ニーズに応え、観光消費に結びつく周遊型・滞在型の観光を促進するため、さらなる魅力向上の取り組みが必要。					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	自然や歴史に触れる観光の促進 栗東の魅力を生かした付加価値の高いコンテンツの提供						
5. 期待される効果	戦略の視点	地域経済の活性化、にぎわいの創出、市民の栗東市への愛着を高める					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iv選ばれるまちをつくる	基本的方向1	2地域資源を活かしたまちづくり	施策の方向1	地域資源を活かしたまちづくりの推進	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト		—				
	事業(取組)に関連するKPI		観光消費額				
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—		
8. DX推進計画との関連性の有無	無						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	テーマ性のある体験型コンテンツの支援、隠れた魅力の発掘、磨き上げ	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	(一社)栗東市観光協会への補助事業の支援回数(回/年) 算出方法 観光協会補助事業の回数(和中散本舗公開 春秋、めぐりちゃんバス運行 春秋、フォトコンテスト)	計画	5回	5回	5回	5回	5回
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	“栗東市観光振興戦略”の策定(栗東市観光振興会議 年3回開催) ・旧和中散本舗特別公開、RITTOフォトコンテストなど、(一社)栗東市観光協会事業への補助 その他、(一社)栗東市観光協会、市民団体などの取り組み(観光庁補助金への事業応募)への支援	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S73	No.		No.	

1. 担当課名	商工観光労政 課		
2. 事業(取組)名称	特名産品、観光産業の活性化		事業コード(あれば)
3. 現状と課題	戦略の視点	栗東市は豊かな自然環境や歴史文化資産が数多く存在するとともに、競走馬の調教施設があることによって「馬のまち」としても知られている。多様化する観光客ニーズに応え、観光消費に結びつく周遊型・滞在型の観光を促進するため、さらなる魅力向上の取り組みが必要。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	観光の高付加価値化とシビックプライドの醸成 地域一帯で取り組む観光産業の育成・高付加価値化		
5. 期待される効果	戦略の視点	地域経済の活性化、にぎわいの創出、市民の栗東市への愛着を高める	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iv選ばれるまちをつくる	基本的方向1	2地域資源を活かしたまちづくり	施策の方向1	地域資源を活かしたまちづくりの推進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI		観光消費額			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	周遊型滞在型観光の促進、特名産品の 充実支援	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	物産展出品回数(回／年) 算出方法 物産展出店可能なイベントの回数 (栗東ステークス、近江特別、泉佐野 (協定締結先)主催全国物産フェア、 滋賀県キャンペーン)、草津宿場まつ り	計画	5回	5回	5回	5回	5回
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	“栗東市観光振興戦略”の策定(栗東市観光振興会議 年3回開催) 「馬のまち」としての取り組み(栗東ステークス、ホースパーク計画)の積極的なPR 物産展への積極参加、(一社)栗東市観光協会への補助事業の支援、めぐりちゃんバスの運行の支援 その他、(一社)観光協会、市民団体などの取り組み(観光庁補助金への事業応募)への支援	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S74	No.		No.	

1. 担当課名	商工観光労政 課						
2. 事業(取組)名称	観光に関する情報発信の強化・充実			事業コード(あれば)			
3. 現状と課題	戦略の視点	多様化するニーズに合わせて、インターネットやSNS等も活用した効果的な情報発信やプロモーションの強化が必要。					
	行革の視点						
4. 事業(取組)概要	効果的なプロモーションや情報発信・交流の実施						
5. 期待される効果	戦略の視点	観光客の新たな層を発掘し、観光客の増加					
	行革の視点						
6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iv選ばれるまちをつくる	基本的方向1	2地域資源を活かしたまちづくり	施策の方向1	地域資源を活かしたまちづくりの推進	
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2		
	該当する重点プロジェクト		—				
	事業(取組)に関連するKPI		観光入込客数				
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—		
8. DX推進計画との関連性の有無	無						
9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	観光の強みを活かしたブランディングやプロモーション支援、一元的・広域的な情報提供のための行政間連携、官民連携、通過型来訪者への効果的な広報	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	LINE投稿回数(9回/年) 算出方法 毎年必ず行われる事業でLINE投稿が可能な事業の回数(主催以外も含む、物産展なども含む)の回数(和中散公開 春秋、めぐりちゃんバス 春秋、栗東ステークス、近江特別、泉佐野(協定締結先)全国物産フェア、滋賀県キャンペーン)	計画	9回	9回	9回	9回	9回
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	“栗東市観光振興戦略”の策定(栗東市観光振興会議 年3回開催) ・LINE、Facebookなどを活用した観光情報の積極的発信	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S75	No.		No.	

1. 担当課名	シティプロモーション推進 課		
2. 事業(取組)名称	・「馬」関連ふるさと納税返礼品の充実		事業コード(あれば) -----
3. 現状と課題	戦略の視点	人口の社会減が続く中、選ばれるまちになるために、「馬のまち」をPRしていく必要がある。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	馬関連のグッズや体験をふるさと納税の返礼品とし、「馬のまち」のPRを行う。		
5. 期待される効果	戦略の視点	市場規模が拡大の一途をたどるふるさと納税の活用により、大手ECサイト等を通じて「馬のまち」を全国に発信する。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iv選ばれるまちをつくる	基本的方向1	2地域資源を活かしたまちづくり	施策の方向1	地域資源を活かしたまちづくりの推進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI		「栗東と言えば馬のまち」と感じる市民の割合			
7. 行革大綱での位置づけ	方針			項目		
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	馬関連返礼品の開拓	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	馬関連返礼品のPR	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	馬関連返礼品取扱事業者数 算出方法 馬関連の返礼品を取り扱う事業者の件数	計画	11者	11者	11者	11者	11者
		実績					
		評価					
②	返礼品の情報発信の回数 算出方法 HPやイベント等で情報を発信した件数	計画	5回	5回	5回	5回	5回
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①既存、新規を問わず、馬関連の返礼品を取り扱う事業者に働きかけを行う。 ②HP、ポータルサイト、各種イベント等で情報発信を行う。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S76	No.		No.	D-33

1. 担当課名	商工観光労政 課		
2. 事業(取組)名称	観光情報の発信や観光事業の面から馬を活かしたまちづくりなどにDX推進を検討		事業コード(あれば)
3. 現状と課題	戦略の視点	実効性のある事業を展開するため観光に関する統計やデータの整備・利活用が必要。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	観光に関するDXの推進、必要に応じたアンケート調査等の実施によるデータの収集と提供		
5. 期待される効果	戦略の視点	データをもとにした効果的な情報発信、事業の実施ができる。観光事業で馬を活かす効果的な方法について分析できる。	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iv選ばれるまちをつくる	基本的方向1	2地域資源を活かしたまちづくり	施策の方向1	地域資源を活かしたまちづくりの推進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI		「栗東と言えば馬のまち」と感じる市民の割合			
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	有					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	観光に関するDXの推進、必要に応じたアンケート調査等の実施によるデータの収集と提供	計画	調査・研究	検討	準備	実施	実施
		実績					
		評価					
②		計画					
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	データ整備・利活用を計る相応しい指標がない 算出方法	計画					
		実績					
		評価					
②	算出方法	計画					
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	観光に関するDXの推進、必要に応じたアンケート調査等の実施によるデータの収集と提供	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標		
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		

【取組シート】

総合戦略実行計画		行革大綱実行計画		DX推進計画	
No.	S77	No.		No.	

1. 担当課名	歴史民俗博物館		
2. 事業(取組)名称	歴史民俗博物館での展覧会の開催		事業コード(あれば)
3. 現状と課題	戦略の視点	地域資源を活かしたまちづくりを進めるには、市の魅力を発信する拠点が必要。	
	行革の視点		
4. 事業(取組)概要	地域の博物館として、市の豊かな歴史や文化を取り上げた展覧会を開催する。		
5. 期待される効果	戦略の視点	市の豊かな歴史や文化の魅力発信・市に愛着や誇りを持つ市民の増加・交流人口の拡大	
	行革の視点		

6. 総合戦略での位置づけ	基本目標1	iv選ばれるまちをつくる	基本的方向1	2地域資源を活かしたまちづくり	施策の方向1	地域資源を活かしたまちづくりの推進
	基本目標2		基本的方向2		施策の方向2	
	該当する重点プロジェクト		—			
	事業(取組)に関連するKPI					
7. 行革大綱での位置づけ	方針	—		項目	—	
8. DX推進計画との関連性の有無	無					

9. 年次計画(取組項目)		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	市の歴史や文化について紹介する特集展示等の開催	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
②	通史展示「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)の充実、来館者増加のための広報、関係団体等との連携	計画	実施	実施	実施	実施	実施
		実績					
		評価					
10. 活動(アウトプット)指標		スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	特集展示等の開催回数(本) 算出方法 第2展示室で開催する特集展示等の本数	計画	5本	5本	5本	5本	5本
		実績					
		評価					
②	歴史民俗博物館への入館者数(人) 算出方法 歴史民俗博物館に入館した人数	計画	11000人	11000人	11000人	11000人	11000人
		実績					
		評価					

11. 年度目標と取組成果

令和7年度	年度目標	①終戦80年・昭和100年を意識した展覧会の開催、市の歴史と文化を特徴づける宗教文化を紹介する展覧会の開催。 ②通史展示「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)の充実。	
	取組実績		
	課題 ※9.年次計画(取組項目)と10.活動(アウトプット)指標の評価に乖離がある場合、その理由		
	今後の方向性・対応策		
令和8年度	年度目標	①テーマをしばった特集展示等の開催。 ②通史展示「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)の充実。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和9年度	年度目標	①テーマをしばった特集展示等の開催。 ②通史展示「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)の充実。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和10年度	年度目標	①テーマをしばった特集展示等の開催。 ②通史展示「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)の充実。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		
令和11年度	年度目標	①テーマをしばった特集展示等の開催。 ②通史展示「栗東の歴史と民俗」(第1展示室)の充実。	
	取組実績		
	課題		
	今後の方向性・対応策		